

令和8年度予算概要（案）

（個別政策資料編）

R8主要施策

① 人口減少・少子化対策

- 1 つなぐ えがく みのわの未来 ～SDGs未来都市～
- 2 災害に強いまちづくり推進事業
- 3 防災×ゼロカーボン 気候変動に備える日
- 4 2050ゼロカーボンみのわ推進事業
- 5 DX推進事業
- 6 地域総合活性化事業
- 7 移住定住促進事業
- 8 空き家対策事業
- 9 広報情報発信事業
- 10 地域間交流推進事業
- 11 多文化共生のまちづくりプロジェクト
- 12 男女共同参画・若者女性活躍推進事業
- 13 重層的支援体制整備事業
- 14 こどもの貧困対策事業
- 15 障がい者地域活動支援センターリニューアル事業
- 16 松島保育園大規模改修事業
- 17 こどもまんなか社会推進事業
- 18 健康増進事業
- 19 アピアランスケア助成事業

② 物価高騰対策～生活を守る取り組み～

- 20 みのわテラス整備事業
- 21 ツキノワグマ等有害鳥獣対策事業
- 22 森林環境整備事業
- 23 地域農業を支える体制の整備
- 24 産業支援センターみのわ
- 25 関係人口創出拡大施設 東みのわサテライトオフィス
- 26 もみじ湖観光受入事業
- 27 赤そばの里観光受入事業
- 28 天竜公園整備事業
- 29 人や経済活動を支える道路インフラの整備
- 30 公営住宅改修事業
- 31 重要施設上下水道耐震化事業
- 32 公共下水道不明水対策事業
- 33 教育の再構築 ～子どもが主役の学校づくり～
- 34 箕輪町文化センター開館30周年記念自主事業
- 35 スポーツ振興計画
- 36 町民体育館リニューアルオープン
- 37 文化・スポーツの町みのわ ～文化力向上プロジェクト～
- 38 箕輪町誌編さん事業 ～新しい『箕輪町誌』が目指す姿～

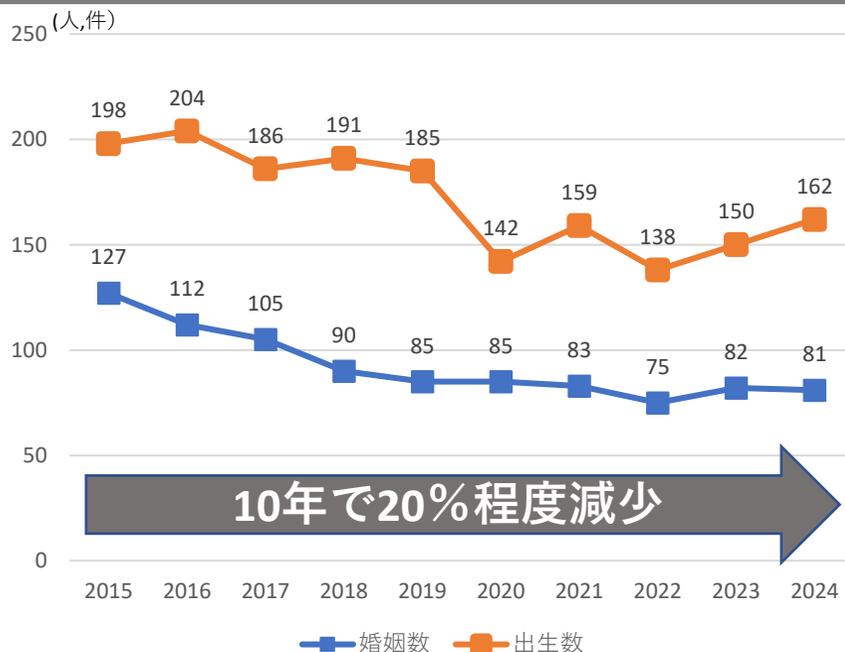
(1) 現状と課題・方向性

自然増減

- 婚姻数、出生数ともに減少が続き、10年で2割程度の減
- 婚姻数においては、10年で3割超の減

- ◆ 結婚や妊娠・出産を望む方が希望を叶えられる環境の整備
- ◆ 子育てにかかる費用等経済的負担の軽減、環境の整備

婚姻数と出生数の推移 (2015年から2024年)

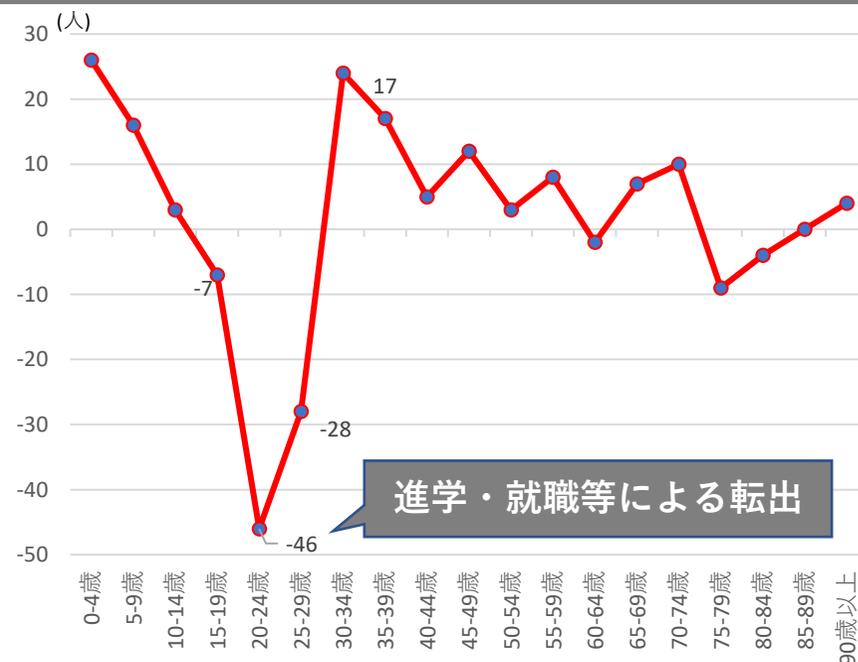


社会増減

- 年齢階層別人口移動では、10代後半から20代は転出超過
- 進学・就職等による若者の転出超過が顕著

- ◆ 確実な移住者及び定住者の増加、選ばれる町を目指す
- ◆ 若者や女性に選ばれる環境整備、質の高い雇用の創出

年齢階層別人口移動 (2024 転入 - 転出)



(2) 自然増に向けた対策 (令和8年度 主な取組み 60,633千円)

結婚や妊娠・出産を望む方が
希望を叶えられる環境の整備

継 妊産婦医療費給付事業 4,215千円

母子手帳発行月から出産翌月までの医療費を福祉医療費として給付

継 不妊治療費・不育症治療費助成事業 1,308千円

不妊・不育症治療への補助

継 妊婦・1か月児・産婦健康診査等委託料 20,484千円

妊婦・1か月児・産婦健康診査・新生児聴覚検査にかかる費用を補助

拡 産後ケア、育児・母乳相談助成事業 3,553千円

出産後の母体管理・育児支援・母乳相談等の養育支援実施 新たに産後ケア費用の補助を拡充

拡 結婚支援事業 7,200千円

子育てやトモカジに理解を示す新婚世帯に対し、新生活をはじめめるための引越費用や住居費を補助

子育てにかかる費用等経済的
負担の軽減、環境の整備

拡 保育園副食費・小中学校給食費の保護者負担の抑制・減額

- ・第2子以降の副食費を無償化、3歳以上児の副食費負担の減額を継続して抑制
- ・国の交付金を活用し小学校の給食費負担を減額
- ・中学校の給食費負担を更に減額

継 幼児教育保育無償化

- ・3歳以上児の保育料無償化
- ・未満児保育料 第1子 1/4補助(一定所得以下は1/2)
第2子・3子 無償化

継 乳幼児用おむつ・ミルク用品購入助成事業 15,593千円

0・1歳児を養育する家庭に対して児童1人あたり30,000円の購入券を支給

継 在宅保育給付金交付事業 8,280千円

1歳以上の未就学児を在宅で保育する保護者に対し給付金を交付
児童1人につき月額3,000円

(3) 社会増に向けた対策 (令和8年度 主な取組み 137,942千円)

移住定住者・関係人口を増やす
取組み

継 移住定住促進事業 1,513千円

- ・HP、SNSでの情報発信
- ・移住イベント、相談会展
- ・移住体験住宅の設置・運営

拡 移住定住に係る補助金 43,837千円

- ・住宅取得費用や家賃、宅地開発に対する支援
- ・特定人材の就労や奨学金返還を支援
- ・空き家の取得・活用・除却に関する補助金の交付

拡 関係人口創出拡大事業 5,000千円

豊島区をはじめ、浜松市庄内地区、東京箕輪会に加え、新たに姉妹都市となった幸田町等との地域間の交流の推進

拡 関係人口創出拡大施設 13,793千円

東みのわサテライトオフィスを指定管理に。魅力ある施設として新たな人の流れを創出

若者や女性に選ばれる環境整備・
質の高い雇用の創出

新 「箕ルプロジェクト」事業 3,302千円

箕輪独自の取り組みで、多様な女性活躍のあり方を支援するプロジェクトを始動

新 若者活躍推進事業 1,811千円

若者世代住民調査、若者座談会、若者活躍応援事業補助金により若者が自分らしく活躍できる町を創出

拡 働きたい女性への支援 3,446千円

- ・女性のためのセミナー開催
- ・女性のための就労相談窓口
- ・女性のための合同企業説明会 等

継 工場等設置事業補助金 61,740千円

工業振興、工場誘致及び設備投資を促進するための補助

継 未来を担う世代応援金 3,500千円

町内企業等に就職した新規就職者等に応援金を補助

重点項目 ② 物価高騰対策 ～生活を守る取組み～

令和8年度当初予算 76,809千円

令和7年度補正予算 278,989千円

No.	担当課	事業名	事業概要	事業費 (千円)
1	企画振興課	物価高騰生活応援券事業	生活支援と消費拡大のため、町内の登録店舗で使用できる物価高騰生活応援券を1人当たり5,000円分配布	126,897
2	福祉課	住民税非課税世帯エアコン設置促進事業	命と健康を守るため、エアコン未設置の住民税非課税世帯へのエアコンの設置費用を一部助成（県・町事業）	5,031
3	福祉課	生活困窮者等緊急支援物資	物価高の影響から困窮状態にある方に提供される食料等について、財政的に支援	2,000
4	福祉課	高齢者・障がい者生活応援券事業	高齢者、障がい者へ配布していた外出支援券を休止し、生活応援券として、購入可能物品の対象拡大と増額配布	28,672
5	こども未来課	物価高対応子育て応援手当事業	物価高騰の影響を特に受ける子育て世帯を支援するため、対象児童1人当たり2万円を給付（国事業）	82,061
6	こども未来課	保育園給食費保護者負担軽減	食材費等高騰の中でも、保育園給食費の保護者負担を一定に保つために、給食食材費にかかる公費負担を拡大	23,000
7	みどりの戦略課	物価高騰農薬購入費補助事業	農薬等の価格高騰により経営を圧迫されている農業者に対し、緊急対策として農薬購入費の一部を助成	15,000
8	商工観光課	中小企業者支援金事業	物価高騰を受けながらも、賃上げや設備投資等を行う中小企業者を支援する支援金を給付	50,000
9	学校教育課	中学校給食費保護者負担軽減	食材費高騰の中でも、中学校給食費の保護者負担を増やさず、更に軽減するため、公費負担を拡大	23,137

1 つなぐ えがく みのわの未来 ～SDGsで描くみのわの未来～

令和8年度予算額：24,074千円（国交付金12,037千円）

経済

箕輪町の課題A
安定的な産業基盤に向けた経営支援

- 産業用地の確保、事業者支援
- 農業拠点施設（みのわテラス）の充実
 - ・みのわテラスブランディング1,162千円
 - ・みのわテラス整備
127,749千円（国1/2予定）



環境面の相乗効果①
CO2削減

経済面の相乗効果②
企業活動の価値向上

経済面の相乗効果①
住民満足度の向上

社会面の相乗効果①
働き手のモチベーションアップ

<三側面をつなぐ統合的取組>
もみじ湖プロジェクト

○2050ゼロカーボンみのわの推進
6,391千円（国1/2予定）

地元企業によるSDGs
体験学習（企業活動）

○脱炭素化農業の推進
760千円（国1/2予定）

○森林ビジョンの推進
4,000千円（国1/2予定）

○観光地のオーバーツーリズム対策
10,262千円（国1/2予定）

環境

箕輪町の課題C
脱炭素化の実現に向けた取組の推進



箕輪町の課題B

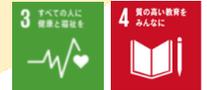
多様性を踏まえた安全安心
なまちづくりの推進

社会

○充実している子育て環境の維持
こどもまんなかイベント
1,499千円（国1/2）

○災害に強いまちづくり

○多文化共生のまちづくり
日本語教室 2,227千円（県4/5予定）



環境面の相乗効果②
水質保全の意識向上



社会面の相乗効果②
郷土愛の醸成

協働でプロジェクトの実現を



2 災害に強いまちづくり推進事業

能登半島地震の教訓を生かした災害対策

I 見直しの軸となる4つの取り組み

▶ 自助・共助の推進

▶ 要配慮者対応の見直し

▶ 物資備蓄、避難所生活環境の抜本的な見直し

▶ インフラ強靱化の推進

II 取り組みのスケジュール

取組項目	R6 (2024) 年度	R7 (2025) 年度	R8 (2026) 年度	R9 (2027) 年度	R10 (2028) 年度	R11 (2029) 年度
住宅耐震改修の促進	耐震改修事業 (耐震診断15戸、 耐震改修0戸、 解体2戸)	耐震改修事業 (耐震診断17戸、 耐震改修2戸、 解体0戸)	耐震改修事業の実施 (耐震診断20戸/年、耐震改修3~10戸/年、解体3~10戸/年)			
物資備蓄の 充実、避難 所生活環境 の改善	避難所環境向上 (R6国補正予算)		避難所環境向上 (R7国補正予算)			
	備蓄品整備					
	食料・水等の回転備蓄					
	中学校への太陽 光・蓄電設備設置	小学校3校への 太陽光・蓄電設備 設置	小学校2校への 太陽光・蓄電設備 設置			
災害時個別 避難計画の 作成、外国 人支援	個別避難計画の作成					
	外国人支援人材の育成、災害情報発信の充実					
上下水道の 耐震化	上水道67.4%	上水道69.8%	上水道耐震化 (R11年度91.2%)			
	下水道59.0%	下水道59.5%	下水道耐震化 (R11年度62.5%)			

2 災害に強いまちづくり推進事業 令和8年度関連予算（義務的経費以外） No.4・10事業

大規模災害に備えた生活必需品の備蓄・確保①

予算：5,823千円（8年度当初分）・17,890千円（7年度繰越分）

災害時の生活必需品確保について、自分の命は自分で守る「自助」を前提とし、各家庭・個人で最低でも3日分、できる限り1週間分の備蓄を進めていただくよう、引き続き町民の皆さんへの啓発を行います。

一方で何らかの事情により町民の「自助」による備蓄品が十分に活用できない状況に備え、町では避難所TKBの環境向上を踏まえた備蓄を進めています。「長野県地震対策強化アクションプラン（R6.9）」で示された県と

市町村の備蓄に関する共通の考え方（想定する被害、基本的な備蓄品目及び必要量）に基づき、町が公助として備えるべき品目について、R9末を目標に引き続き整備していきます。

また、県が示す基本9品目に含まれない生活必需品についても、過去の大災害における教訓や他自治体における活用例も踏まえて検討し、町独自の備蓄品目として確保に努めます。

基本9品目

食料、毛布、乳幼児用ミルク、子ども用おむつ、大人用おむつ、携帯・簡易トイレ、トイレトーパー、生理用品、飲料水

町独自の品目

パーティション、簡易ベッド・段ボールベッド・ロールマット、救急セット、歯ブラシ、タオル、ブルーシート、ホッカイロ等

R6

R7

R8～

これまでの取組み（～R7）

避難所TKBの環境向上のためR4に災害備蓄計画を見直し、R6年度までにT（トイレ環境）について携帯トイレの必要数を確保し、最低限の整備を完了した。

残るKBに関わる備蓄のうち「B（就寝環境）」については、毛布の必要量をR8購入をもって充足予定。「K（食事環境）」については消費期限の問題もあるため年度毎の分散購入の計画。R9充足を目標に毎年購入していく。また同時に「みなし備蓄」の交渉を進め、回転備蓄の負担軽減を図る。

【基本9品目の備蓄状況】

品目	R7末備蓄量（必要数量）	R7末充足率
食料	14,887食（11,550食）	128.9%
乳児用ミルク	1,270g（2,800g）	45.3%
幼児用おむつ	3,936枚（700枚）	562.3%
大人用おむつ	1,902枚（200枚）	951.0%
トイレトーパー	3,432巻（830巻）	413.5%
飲料水	7,512ℓ（11,550ℓ）	65.0%
生理用品	18,030枚（7,000枚）	257.6%
携帯トイレ	36,000個（22,800個）	157.9%
毛布	2,890枚（3,040枚）	95.1%

基本9品目の備蓄促進

目標数量を充足していない品目の備蓄を促進し、**R9末までに完備**

民間企業との協定による「みなし備蓄」の促進

協定等による「みなし備蓄（流通備蓄）」を促進し、**現物備蓄の削減に努める**
※特に期限のあるもの

町独自の備蓄品の検討と充実化

TKBの環境向上を念頭に県の基本9品目に含まれない品目の備蓄を検討

町計画に基づく備蓄の推進

目標数量を維持するための適切な管理・更新

連携企業の発掘と連携体制の維持

「みなし備蓄」の確保に伴う
現物備蓄の目標数量の削減

人口構造や気象環境を踏まえた
町独自の備蓄物品購入の検討

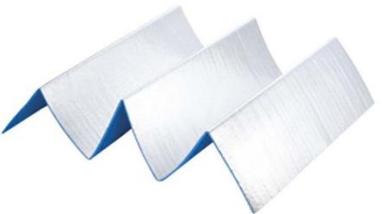
自主防災組織の備蓄に対する助言、購入補助

2 災害に強いまちづくり推進事業 令和8年度関連予算（義務的経費以外） No.10事業

大規模災害に備えた生活必需品の備蓄・確保②（令和7年度繰越事業） 予算：17,890千円（令和7年度繰越）

地域未来交付金（地域防災緊急整備型）活用

箕輪町避難所環境向上事業

<p>事業概要</p>	<p>夜間においても迅速かつ安全に避難所開設ができるよう各区の公民館等へ大型照明器具及びその給電用の発電機を配備するとともに、災害関連死の確率が相対的に高まる冬季の災害に備え、寒さ対策に資する床敷マットを購入する。また、町が備蓄する資機材を保管するための防災倉庫を増設する。</p>																
<p>購入する 資機材等の 内容</p>	<table border="0"> <tr> <td>①ガソリン発電機</td> <td>15基</td> <td>3,981千円</td> </tr> <tr> <td>②投光器</td> <td>15基</td> <td>3,327千円</td> </tr> <tr> <td>③防災倉庫</td> <td>1基</td> <td>8,426千円</td> </tr> <tr> <td>④床敷マット</td> <td>817枚</td> <td>2,157千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>17,890千円</td> </tr> </table>	①ガソリン発電機	15基	3,981千円	②投光器	15基	3,327千円	③防災倉庫	1基	8,426千円	④床敷マット	817枚	2,157千円	計		17,890千円	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>① </p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>③ </p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>② </p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>④ </p> </div> </div>
①ガソリン発電機	15基	3,981千円															
②投光器	15基	3,327千円															
③防災倉庫	1基	8,426千円															
④床敷マット	817枚	2,157千円															
計		17,890千円															
<p>財源内訳</p>	<table border="0"> <tr> <td>総事業費</td> <td style="text-align: right;">17,890千円</td> </tr> <tr> <td>地域未来交付金（補助率1/2）</td> <td style="text-align: right;">8,945千円</td> </tr> <tr> <td>補正予算債（充当率100%、元利償還の50%について普通交付税措置）</td> <td style="text-align: right;">7,800千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">1,145千円</td> </tr> </table>		総事業費	17,890千円	地域未来交付金（補助率1/2）	8,945千円	補正予算債（充当率100%、元利償還の50%について普通交付税措置）	7,800千円	一般財源	1,145千円							
総事業費	17,890千円																
地域未来交付金（補助率1/2）	8,945千円																
補正予算債（充当率100%、元利償還の50%について普通交付税措置）	7,800千円																
一般財源	1,145千円																

2 災害に強いまちづくり推進事業 令和8年度関連予算（義務的経費以外）①

総事業費：449,831千円
 国県支出金：141,612千円
 起債：249,900千円
 一般財源：58,319千円
 その他：0千円

No.	担当課	事業名	事業概要	事業費 (千円)	財源内訳(千円)			
					国・県	起債	一般財源	その他
1	総務課	消火栓修繕	老朽化した消火栓主弁の開閉機能調整 町内26箇所	572	0	0	572	0
2	総務課	消火栓整備事業	消火栓の新設・更新 町内13箇所	19,520	0	13,900	5,620	0
3	総務課	消防施設等整備補助金	区要望に基づく消防用器具の購入補助 4区	621	0	0	621	0
4	総務課	災害用備蓄品等整備事業	災害用備蓄品の整備（水、非常食、粉・液体ミルク、 備蓄毛布、ブルーシート等）	5,823	0	0	5,823	0
5	総務課	防災イベント事業	子ども向けの体験メニューを通じて災害に対する自助 力を高めるイベントの実施 7月開催予定	184	0	0	184	0
6	総務課	全国瞬時警報システム設備更 新事業	部品が老朽化している全国瞬時警報システム（Jア ラート）の設備更新	11,864	0	9,300	2,564	0
7	総務課	防災アプリシステム改修	防災アプリ「みのわメイト」の利便性向上のための改 修	1,045	0	0	1,045	0
8	総務課	自主防災組織育成補助金	各防災組織（区等）の活動補助 15区	1,500	0	0	1,500	0
9	総務課	防災士養成事業補助金	防災士の資格取得に対する補助 3人分	135	0	0	135	0

2 災害に強いまちづくり推進事業 令和8年度関連予算（義務的経費以外）②

No.	担当課	事業名	事業概要	事業費 (千円)	財源内訳（千円）			
					国・県	起債	一般財源	その他
10	総務課	災害用備蓄品等整備事業 ※令和7年度補正予算事業	災害用備蓄品の整備（発電機、投光器等） 防災倉庫の整備 1箇所	17,890	8,945	7,800	1,145	0
11	総務課 ゼロカーボン推進室	ゼロカーボン推進補助金 【蓄電設備導入補助：セット】	住宅への蓄電設備導入に要する経費に対する補助金 太陽光設備とセットで導入：最大6万円/kWh上限42万円） 20件	8,400	7,140	0	1,260	0
12	総務課 ゼロカーボン推進室	ゼロカーボン推進補助金 【蓄電設備導入補助：単独】	住宅への蓄電設備導入に要する経費に対する補助金 既存太陽光に蓄電設備を接続：1件10万円 20件	2,000	0	0	2,000	0
13	総務課 ゼロカーボン推進室	ゼロカーボン推進補助金 【EV等購入補助】	EV・PHVの購入に要する経費に対する補助金 災害時非常用電源。国補助金の1/10（上限10万円） 10台	1,000	0	0	1,000	0
14	総務課 ゼロカーボン推進室	ゼロカーボン推進補助金 【V2H充放電設備導入補助】	V2H充放電設備導入に要する経費に対する補助金 災害時非常用電源（EVの活用）国補助金の1/10（上限10万円）10基	1,000	0	0	1,000	0
15	総務課 ゼロカーボン推進室	小学校への太陽光・蓄電設備 設置工事 ※令和7年度補正予算事業	北・南小学校への太陽光・蓄電設備設置工事 電力の自給率向上及び非常時の電源確保 ※事業費は蓄電設備分	25,410	16,940	8,400	70	0
16	くらしの安全安心課	防災関係事業	災害時多文化防災ワークショップ、災害時通訳翻訳ボランティア及びサポーター研修、外国人向け防災ガイダンス	443	0	0	443	0
17	福祉課	災害時個別避難計画作成事業	災害発生時に要支援者が避難できるように要支援者の状況や避難先、避難を支援する方法等を記載した個別避難計画の作成	1,738	0	0	1,738	0

2 災害に強いまちづくり推進事業 令和8年度関連予算（義務的経費以外）③

No.	担当課	事業名	事業概要	事業費 (千円)	財源内訳（千円）			
					国・県	起債	一般財源	その他
18	福祉課	災害ボランティアセンター訓練	災害発生時に立ち上げるボランティアセンター立ち上げ訓練を社会福祉協議会へ委託	114	0	0	114	0
19	みどりの戦略課	森林整備事業	地区森林ビジョンに基づく森林整備、緩衝帯整備、災害危険木の除去等を実施	3,000	0	0	3,000	0
20	みどりの戦略課	危険木等除去事業	緊急的に対応が必要な危険木・ライフラインに影響を与える支障木の除去を実施	2,000	0	0	2,000	0
21	建設課	雨水排水対策事業	天竜川右岸第2・3排水区 沢・大出・松島地区の雨水基幹水路への接続整備	22,500	0	22,500	0	0
22	建設課	住宅・建築物耐震改修事業	S56年5月以前に建築された建物の無料耐震診断の実施 20戸	2,720	1,800	0	920	0
23	建設課	住宅・建築物耐震改修事業	S56年5月以前に建築された建物の耐震改修に係る補助 3戸	3,900	2,587	0	1,313	0
24	建設課	住宅・建築物耐震改修事業	S56年5月以前に建築された建物の解体に係る補助 3戸	2,936	2,200	0	736	0
特会	水道課	重要給水施設配水管耐震化事業	配水池から重要施設（避難所等）までの配水管耐震化工事	219,720	62,000	138,000	19,720	0
特会	水道課	重要施設接続下水道管耐震化事業	重要施設（避難所等）から処理場までの下水道管耐震化工事	93,796	40,000	50,000	3,796	0

3 自分を守る、地球を守る 防災×ゼロカーボン 気候変動に備える日

事業費680千円

うち
災害対策費 :184千円
ゼロカーボン推進事業費:496千円

気候変動の進行により、豪雨・猛暑などの気象災害の被害が深刻化する懸念が高まっている。気象災害や高温等による健康被害、農業被害に対して町民一人ひとりが理解を深め、防災への意識を高めるとともに、気候変動の原因となる温室効果ガスの排出削減について意識共有を図るために、「防災×ゼロカーボン」をテーマに、多世代を対象としたイベントを開催する。

- 日程 令和8年7月11日(土) 10:00~15:00(予定)
- 会場 文化センター、交流センター、交流広場
- 内容(案)



災害への自助力強化

×

ゼロカーボンの意識
醸成

みのわBOSAIネットワークによる ワークショップ

町内防災士等によるワークショップを実施。町民の自助力向上の啓発を行う。



紙皿ワークショップ&自衛隊カレー

災害時の食事を想定し、新聞紙を使って紙皿を製作。作った参加者は自衛隊調理車によるカレー配布を受けられる。

EV給電実演・災害備蓄品試食

パワームーバーを活用した公用車EVからの電源供給により、備蓄食料を調理。試食を行う。

関連企業の取組・製品展示

家庭備蓄品などの防災関連企業やゼロカーボンに関する事業を実施する企業の展示ブースを設ける。

特殊車両展示

はしご車をはじめとした消防車両や、災害時に活躍する緊急車両を展示し、特に若年層の防災への関心を高める。

気象予報士による親子講座

気象予報士による親子向け講座を実施。多世代に向けて気候変動の現状を分かりやすく周知。

環境マークでお買物ビンゴ

長野県環境保全協会により実施。ワークショップを通じて、環境にやさしい製品購入の機運を醸成する。



などを実施

協力予定(依頼)者

(一社)長野県環境保全協会(長野県地球温暖化防止活動推進センター)、みのわBOSAIネットワーク、町内企業・団体 等

4 2050ゼロカーボンみのわ推進事業

令和8年度予算額：9,721万円（うち再エネ推進交付金6,644万円）

ゼロカーボンの実現に向けて町民・事業者の取り組みを強力に推進します。このため太陽エネルギー活用による創エネと住宅の断熱化による省エネ及びライフスタイルの変容を促し、ゼロカーボンにつながる新しい快適で豊かな暮らしと持続可能な地域社会づくりを目指すとともに、災害時等における停電対策など地域防災力強化を図ることを目的に補助事業等を実施します。

1 太陽光発電・蓄電・太陽熱設備の導入補助 8,338万円

- ★ = 重点対策加速化事業分
- A：（個人）太陽光発電設備 50件 4,000万円★
10万円/kW（上限100万円）
 - B：（個人）Aの太陽光と常時接続する定置型蓄電設備 20件 840万円★
補助率3分の1 最大6万円/kWh（上限42万円）
 - 拡** C：（事業所）太陽光発電設備 2件 600万円★ **対象に新築を追加**
6万円/kW（上限300万円）
 - D：ソーラーカーポート 3件 700万円★
補助率3分の1（上限個人100万円 事業所500万円）
 - E：太陽熱利用システム 30件 1,800万円★
補助率3分の2（上限60万円）
 - F：蓄電設備（単独設置） 20件 200万円
4kwh以上のもの 1件10万円

太陽光等普及施策 198万円

- 新** 事業所太陽光発電経済効果シミュレーション
・SNS広告（継続）

2 住宅の断熱化推進補助 750万円

窓・ドア・その他の改修

- ▶開口部の単板ガラスを複層ガラスに替える工事
 - ▶新たなサッシを設置して、二重サッシとする工事
 - ▶屋根、壁、床等に断熱材を設置する工事
- 補助率2分の1（上限15万円）50件 750万円
※国・県等の補助事業との併用可（ただし補助残の2分の1）



3 EV・V2H導入補助 200万円

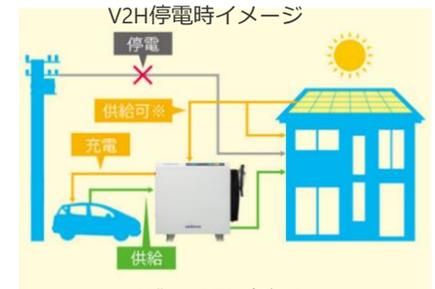
①EV*・PHV*の導入

EV購入者に対する補助 10台 100万円
CEV補助金の10分の1（上限10万円）

②V2H*充放電設備の導入

V2H導入者に対する補助 10基 100万円
V2H補助金の10分の1（上限10万円）

①②とも国・県等の補助事業との併用可



出典：ニチコン（株）HP

※EV(Electric Vehicle)・・・電気自動車
※PHV(Plug-in Hybrid Vehicle)・・・外部から電源をつないで充電できるハイブリッド車
※V2H(Vehicle to Home)・・・EV・PHVへの充電及びEV・PHVから住宅へ電気の供給ができる装置

ゼロカーボン推進 4つの取り組み

2030年度CO2
実質排出量
60%削減

4 その他の取り組み 433万円

新 ①事業所CO2可視化支援事業

町内事業所が脱炭素経営に取り組む第一歩として、CO2排出量の可視化、削減施策の検討等を支援し、地域全体の脱炭素化と企業価値の向上を図ります。 5件 105万円

②啓発・もったいないキャンペーン+の実施（継続）

住民のゼロカーボンの取り組みへの意識等の向上を図り、一人ひとりがゼロカーボンに取り組んでもらえるよう、継続的な街頭啓発活動を実施します。 158万円

③太陽光ゼロ円設置協力金（継続）

PPA等により住宅へ太陽光発電設備を導入1件2万円 10万円
※PPA(Power Purchase Agreement(電力購入契約))・・・PPA事業者が太陽光発電設備を住宅等に無償で設置し、発電した電力のうち使用電力分を利用者が買い取る契約形態

④木質バイオマス機器設置補助（継続）

11件（上限20万円）160万円



事業計画の特徴

- 同一敷地内に存在する5つの公共施設に太陽光発電設備やソーラーカーポートを設置するとともに、この敷地内において自営線を設置し**マイクログリッドを構築**。停電を伴う災害時には**蓄電池・EVから災害対策本部への電力供給**を行います。
- 小中学校に太陽光発電設備・蓄電池を整備。**平時の再エネ利用**に加え、停電時には避難所となる**体育館へ蓄電池から電力供給**する仕組みを構築しました。

住民・事業所向け補助金の成果

再エネ：802.19kW

取組（住宅）	実績 R5～R7年度
太陽光発電設備の導入	109件／576.07kW
蓄電池の導入	95件／877.8kWh
太陽熱利用設備の導入	44件
断熱リフォーム	120件
EV・PHV	29台
V2H	6件
取組（事業所）	実績 R6～R7年度
太陽光発電設備の導入	5件／226.12kW
太陽熱利用設備の導入	2件

公共施設への太陽光発電設備等の整備

再エネ：864.905kW

取組	実績 R4～R7年度
太陽光発電設備（PPA等）の導入	15カ所／864.905kW
うちソーラーカーポート	1カ所／310.2kW
蓄電池の導入	7カ所／508.5kWh
LED照明への更新	自己設置6カ所／リース30カ所
EVの導入	11台

事業の効果（R4～R7補助金・公共事業合算）

再エネ導入	CO2削減見込
約1,667kW	約693.5 t-CO2/年

→ ・一般家庭**約280世帯分**^{※1}の排出量
・スギの木**約5万本**^{※2}の吸収量 に相当

※1 環境省統計（令和5年度確報値）に基づく平均家庭排出量で換算した参考値

※2 環境省・林野庁等の公表データに基づく、一般的なスギ人工林の平均吸収量による参考換算値

整備施設の紹介（一部）



◀ 箕輪町初のZEB施設
防災交流施設 みのわBASE



▶ 役場庁舎周辺再エネ整備事業
みのわサステナブルエネルギーPG
(MSPG)

令和8年度 ゼロカーボン関連予算一覧表①

総事業費 : 336,706千円
 国県その他 : 128,950千円
 起債 : 108,400千円
 一般財源 : 99,356千円

No.	担当課	事業名	概要	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)		
					国・県・ その他	起債	一般財源
1	ゼロカーボン推進室	太陽光発電設備等設置補助金	(住民・事業所向け) 太陽光・ソーラーカーポート・蓄電池・太陽熱利用システム設置に対する補助金(事業所は太陽光・太陽熱のみ)	81,400	65,140	0	16,260
2	ゼロカーボン推進室	電気自動車購入補助金	(住民向け) 電気自動車等(EV・PHV)購入に対する補助金	1,000	0	0	1,000
3	ゼロカーボン推進室	V2H充放電設備導入補助金	(住民向け) V2H充放電設備導入に対する補助金	1,000	0	0	1,000
4	ゼロカーボン推進室	住宅断熱リフォーム補助金	(住民向け) 住宅断熱性能向上リフォームに対する補助金	7,500	0	0	7,500
5	ゼロカーボン推進室	太陽光設備等導入推進協力金	(住民向け) PPA等による太陽光発電設備の導入に対する協力金	100	0	0	100
6	ゼロカーボン推進室	補助金申請等受付事務	ゼロカーボン推進補助金申請・実績報告等の受付事務委託料	996	996	0	0
7	ゼロカーボン推進室	地球・環境・未来会議	気候変動対策や再生可能エネルギーの取組等を町民・事業者・関係者が一体となって議論する会議を開催	1,230	565	0	665
8	ゼロカーボン推進室	ゼロカーボン周知啓発・環境教育	街頭啓発、WEB広告、環境教育出前授業等	3,469	1,923	0	1,546
9	ゼロカーボン推進室	気候変動に備える日事業	気候変動による影響を学び、緩和と適応の取組を身近な行動につなげるため、体験や展示を通じた啓発イベントを開催	497	139	0	358
10	ゼロカーボン推進室	気候変動適応計画策定支援業務	気候変動によって将来起こりうる影響に備え、地域の実情に応じて行う対策をまとめた計画を策定	2,192	1,096	0	1,096
11	ゼロカーボン推進室	事業所CO2可視化支援	町内事業所のCO ₂ 排出量の可視化、削減施策の提案、人材育成を通じて、脱炭素経営の推進を図る	1,045	522	0	523

令和8年度 ゼロカーボン関連予算一覧表②

No.	担当課	事業名	概要	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)		
					国・県・ その他	起債	一般財源
12	ゼロカーボン推進室	事業所発電経済効果シミュレーション	太陽光発電導入時の経済効果や投資回収期間を見える化し、町内事業者の設備導入判断を支援する	1,474	737	0	737
13	ゼロカーボン推進室	再エネ設備系統接続負担金	再エネ電力を地域で活用するための中部電力への系統接続検討負担金	880	0	0	880
14	ゼロカーボン推進室	その他ゼロカーボン推進に関する経費	先進地視察等	314	0	0	314
15	総務課	公用車購入	ハイブリッド自動車購入 (普通自動車 1台)	3,452	0	0	3,452
16	総務課	集会施設照明LED化補助金	集会施設の照明LED化工事、リース料に対する補助を行い、消費電力量を減らしCO2の削減を図る	1,241	0	0	1,241
17	健康推進課	ZEB化改修実施設計業務	保健センターのZEB水準を見据えた省エネ改修に向けた実施設計業務	5,944	0	5,300	644
18	みどりの戦略課	環境にやさしい農作物出荷手数料補助金	環境にやさしい農作物出荷手数料に対する補助金	500	0	0	500
19	みどりの戦略課	有機資材利用促進事業補助金	(住民向け) 堆肥購入費の一部を助成	1,000	0	0	1,000
20	みどりの戦略課	木質バイオマス活用補助金	(住民向け) ペレットストーブ、薪ストーブ購入に対する補助金	1,600	75	0	1,525
21	商工観光課	省エネ最適化診断補助金	(事業所向け) 省エネ最適化診断費用に対する補助金	107	0	0	107
22	文化スポーツ課	長岡収蔵施設照明LED化工事	長岡収蔵施設の照明のLED化を行い、消費電力量を減らしCO2の削減を図る	980	0	0	980

令和8年度 ゼロカーボン関連予算一覧表③

No.	担当課	事業名	概要	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)		
					国・県・ その他	起債	一般財源
23	文化スポーツ課	地域交流センター太陽光発電設備 改修事業	耐用年数を迎えたパワコンの入替えと、売電契約解除に伴う発電した 電気の自家消費専用とする電気設備の改修工事	6,006	0	0	6,006
24	施設所管課	照明LEDリース事業	LEDリース料 (町内30施設)	18,873	0	0	18,873
特会	水道課	下水道施設照明LED化事業	下水道施設の照明LED化工事	2,000	0	0	2,000
	【R8.1月補正】						
25	こども未来課	保育施設太陽光発電設備整備事業	木下保育園・沢保育園・若草園 太陽光64.8kW設置工事 設計・工事段階CM業務	48,535	12,218	25,600	10,717
26	学校教育課	小学校太陽光発電設備等整備事業	北・南小学校 太陽光67.2kW、蓄電池122.8kWh設置工事 設計・工事段階CM業務	143,371	45,539	77,500	20,332
計				336,706	128,950	108,400	99,356

①住民係窓口カウンター更新

予算額：251千円（一財）

住民係窓口の一部を、座って相談しやすいローカウンターへ更新し、マイナンバーなどの個人情報を扱う手続きにも対応した、**プライバシーに配慮したカウンター**を導入します。

これにより、記入内容や手続き内容が他の来庁者から見えにくくなり、**安心して相談・申請できる窓口環境**を整えます。

②簡易書かない窓口システム追加導入

予算額：801千円（国補助）

マイナンバーカードの更新や各種申請で、紙に記入する手間を大幅に減らす「書かない窓口」システムを拡充します。これにより、来庁者の負担を軽減するとともに、今後見込まれるマイナンバーカード更新のピークにも、スムーズに対応できる体制を整えます。また、顔認証機能など、マイナンバーカードの利活用を進めるための基盤づくりにもつながります。

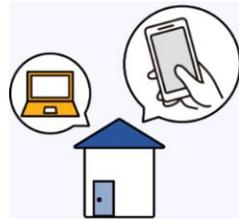
③オンライン申請の拡充

予算額：1,007千円（一財）

町では、役場での手続きをオンラインでも行えるようにする取り組みを進めています。

申請フォームを作成する仕組みを強化し、オンラインで申請できる手続きをさらに増やすことで、**自宅からいつでも手続きができる環境を整えます。**

電子申請システム
LoGoフォーム



④デジタル郵便サービス「SmartPOST」本格導入

予算額：935千円
（県共同調達）

紙の通知から、スマホ配信へ順次切り替えます。

・いつでもどこでも

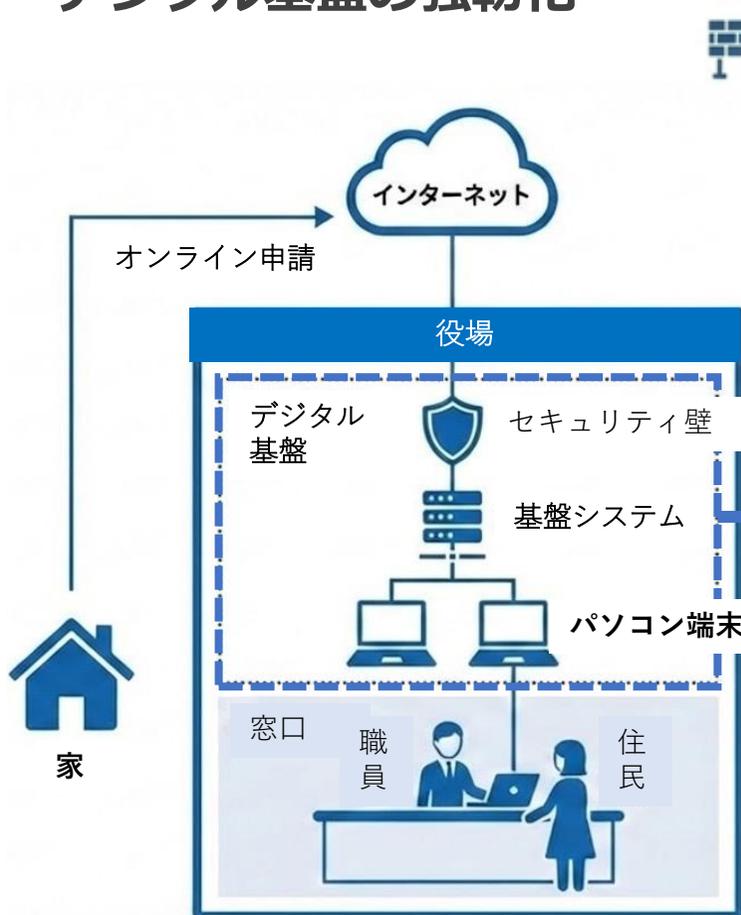
外出先でも、スマホで手軽に内容を確認できます。

・届くのが早い

郵送のタイムラグがなくなり、リアルタイムにお知らせが届きます。



デジタル基盤の強靭化



サイバー攻撃からの情報保護 予算額：3,852千円（リース料）

- 大切な個人情報を守る
巧妙化する攻撃から住民の皆様の情報を守るため、インターネットと役場の境界にあるセキュリティ壁を最新版へ更新します。
- 24時間体制の防衛
最新の脅威に即座に対応できる機能を導入し、町のデジタル安全を確保します。

基盤システム・ネットワークの刷新 予算額：6,600千円（リース料）

- ミスのない事務処理
サーバーやメール環境を統合・更新し、職員の確実な情報連携を強化します。
- 安定稼働の維持
老朽化した基盤を更新し、行政サービスが止まらない環境を維持します。



事務用パソコン端末の計画更新 予算額：8,043千円（リース料）

- 窓口の迅速化
機器の入れ替えにより処理速度を向上させ、窓口での待ち時間を短縮します。
- 業務の安定
更新期限を迎える端末を刷新し、突然の故障による業務停止を防ぎます。



R8年度 各課の主なDX関連予算一覧

総務課 DX推進室

No	事業名	目的	内容	初期費 (千円)	運用費 (千円/年)	担当課
1	窓口カウンター更新	住民サービス向上	住民係窓口の一部を、座って相談しやすいローカウンターへ更新し、マイナンバーなどの個人情報を扱う手続きにも対応した、プライバシーに配慮したカウンターを導入。	251	-	総務課 DX推進室
2	簡易書かない窓口システム拡充	住民サービス向上・事務効率化	住民窓口における標準化対象外のマイナンバーカード更新関係書類を対象に簡易書かない窓口システム導入。対象は順次拡大予定。	5年リース	801	総務課 DX推進室
3	SmartPOST本格導入	住民サービス向上・事務効率化	今まで紙で送付していた個別の通知等をデータで送付可能。マイナンバーカードの利活用や郵送料の低減にも寄与。	県共同調達	935	総務課 DX推進室
4	オンライン申請拡充	住民サービス向上・事務効率化	オンライン申請の仕組みを強化し、オンラインで申請できる手続きをさらに増やすことで、自宅からいつでも手続きができる環境を整備。	県共同調達	1,007	総務課 DX推進室
5	人事評価システム	適切な職員管理・事務効率化	評価シートの準備や評価の進捗管理・分析をシステム化し事務を効率化する。公正かつ透明性のある評価を実施。	-	1,862	総務課 人事係
6	勤怠管理システム	適切な職員管理・事務効率化	職員の勤怠状態が見える化する。給与計算業務の効率化を図る。	-	839	総務課 人事係
7	庁舎案内表示ディスプレイ	住民サービス向上・ペーパーレス化の推進	庁舎内における各課の事業やイベント等の案内や掲示物についてデータ化を行い、紙の貼り紙やポスター等を撤去してデジタル化を推進。	495	-	総務課 総務係
8	防災アプリシステム	住民サービス向上	令和3年度から運用されている災害情報、行政情報、イベント情報を配信する「みのわメイト」の普及拡大を図る。さらに利便性を向上させ、アプリ登録の障壁をなくすことを目的に、SNS認証および通話認証によるアカウント作成を可能にする等の改修を行う。	-	4,441	総務課 危機管理係
9	防災備蓄管理システム	事務効率化	災害用備蓄品の効率的な管理を行いながら、災害時応援協定の締結企業等の協力を得て現物備蓄から流通備蓄への転換の可能性を探り、高騰しつつある災害備蓄に係る経費の削減を目指す。	-	53	総務課 危機管理係
10	ペーパーレス会議システム	事務効率化・ペーパーレス化の推進	各議員に貸与しているchromebookから議案及び関係資料を閲覧可能にし、ペーパーレス化を推進。	-	423	議会事務局
11	げんきセンター南部オートロックシステム	経費削減、効率化	オートロックシステムにより、施設の開館閉館への省人化をはかる。	0	271	健康推進課 健康づくり支援係
12	健康ポイント事業のインセンティブ遠隔付与	住民サービス向上・事務効率化	今まで来庁いただき窓口で手渡ししていた景品を、みのちゃんポイントカードに遠隔付与。ポイント付与のために店舗等へ足を運ぶ必要がなくなるなど住民の利便性を高め、事務の効率化も進める。	0	6	健康推進課 健康づくり支援係
	合計			746	10,638	- 20 -

地域の活性化や地域の課題を解決するために創意工夫し企画した地域活性化に資する事業について支援する活性化交付金や、区要望工事等の分担金、役員の選出など、区の負担軽減しさらなる活性化を図るため、下記の通り見直します。

地域総合活性化事業交付金の見直し〈活性化分〉

- 経常分・・・日常的な地域活動（分館・駅伝事業や子育てサークル、事務支援含む）
- 土木事業分・・・工事負担を軽減
- 活性化事業分・・・知恵とずくを出して取組む事業を支援

【背景・課題】

- 活性化事業分に経常事業（毎年の行事や環境美化活動など）が集中
- 申請や実績報告など事務負担が増大
- 活性化の趣旨が曖昧
- 区の実情に応じた活用ではなく、恒常的かつ形式的な申請になりつつある

見直し

■経常分

・全区一律30万円

これまで継続事業として採択されていた事業は活性化経常分として交付。事務簡素化。

安定的
支援

■活性化分

・総額450万円

（基準：1区あたり30万円）
原則、新規事業（単年度）のみ選定委員会にて選定し採択。

挑戦的
取組

土木農林道関係の分担金の見直し

- 分担金率の減額
農道及び水路改修 工事費 30% →15%へ
- 分担金への活性化事業交付金の活用拡充
→ これまでの建設課事業に加えみどりの戦略課事業（農地、農道、農業用水路改修）も対象

役員の見直し

保健補導員の廃止、日赤奉仕団の選出方法の見直し（R5）に加え、
農業事務嘱託員を廃止



7 移住定住促進事業

令和8年度予算額：41,568千円

令和8年度は、HP等を活用した情報発信移住と移住相談会への出展により、箕輪町への移住相談数を増やすことに力を入れ、箕輪町への移住を検討していただく方の数を増加させます。

さらに、移住検討段階に合わせた移住支援を行うことで、移住検討者と町の関係を深め、移住者の増加へと繋がります。



移住者実績

R6：90人（県内67人、県外23人） R5：134人（県内99人、県外35人） R4：117人（県内94人、県外23人）

※移住イベント、移住体験住宅、各種補助金などを通して町が関与した移住者数

移住相談実績

R6：174件 R5：119件 R4：79件

※移住イベント、体験住宅利用前の相談など。同一人物からの相談含む。

知っていただく機会の創出

予算額：984千円

R8に最も力を入れていく項目

- ・オンラインと対面の双方から、箕輪町を知っていただく機会を創出

HP、SNSでの情報発信

- ・町HPへの掲載情報の充実
先輩移住者の声など
- ・県の移住サイトを活用した
情報発信

〔拡〕 移住イベント・相談会出展

- ・R7に出展できなかった、
全国規模の移住相談会へ出展
- ・県、広域連合主催の移住イ
ベントへの出展継続

- ・移住体験住宅の利用申し込みをさ
れた方の8～9割がインターネット
で箕輪町を知っている。
- ・移住イベントでは、移住体験
住宅を案内し、来町を促している。

移住検討段階のサポート

予算額：987千円

- ・移住体験住宅の運営により町に来て
いただく機会を創出
- ・継続して町との接点を持っていただ
くため、オンラインセミナー開催

短期移住体験住宅の運営

期間：2泊3日～6泊7日

対応：事前移住相談、町内案内、
移住者交流など

希望に合わせた丁寧な案内で他
市町村との差別化を図る。

オンライン移住セミナー開催

開催回数：年6回を予定

テーマ：お金、農、仕事など

先輩移住者に出演いただくことで、移
住を検討している方が、実際の生活を
イメージする機会とする。

- ・住まい、仕事が見つかるかが課題。
空き家担当や商工係と連携を図る。

補助金による移住支援

予算額：39,597千円

- ・オンライン申請による申請者の負担
軽減に取り組む
- ・Uターンを考える方にも情報が届く
よう、町内への広報にも力を入れる

〔新〕 オンライン申請

- ・R8からオンライン申請ができ
るよう整備し、周知する。

町内外への情報発信

- ・町HPへの情報掲載のほか、
広報紙、広報番組等での情報
発信を行う。

移住関連補助金

- ・若者・子育て世帯定住支援奨励金
- ・若者・子育て世帯移住定住促進家賃支援事業補助金
- ・U・Iターン応援特定人材就労奨励金
- ・U・Iターン応援奨学金返還支援補助金
- ・U・Iターン応援就業・創業移住支援事業補助金（国・県）
- ・宅地開発促進事業補助金

8 空き家対策事業

令和8年度予算額：4,370千円

町民の安心・安全な生活環境の確保と空き家・空き地を活用した移住・定住人口の増加のため、空き家対策事業を実施します。「第3次箕輪町空き家等対策計画」に基づき、効果的な空き家解消・利活用のための取り組みを行います。

1 情報の把握

■空き家データの整備 (新)

令和7年度実施した空き家調査の結果及び現在までの把握情報データを一本化する。
現状の台帳の情報等を精査し、運用のしやすい新台帳を整備する。

2 相談体制の整備

■空き家相談の普及啓発・情報発信

固定資産税納税通知書へ空き家バンク・助成制度案内の同封。
各町施設への「空き家の手引き」配布。(定期)
伊那定住自立圏「空き家の総合相談会」を開催。(年2回予定)

■オンライン相談の導入 (新)

窓口相談に加えて、個別で遠方でも気軽に相談が行えるように
オンラインでの相談体制を整備。

■相談業務のマニュアル化 (新)

職員が誰でも同じように相談が受けられるための手順書を作成。
特に空き家・空き地バンクの運営に関して、町が行う業務と業者(不動産等)が行う業務を明確にする。

相談体制の整備 → バンク登録物件の増加
物件がなく移住が進まないことの解消を目指す

3 利活用・除却の促進

■空き家・空き地バンク制度の運営

空き家・空き地バンク制度により空き家・空き地の流通を促す。
○空き家バンクサイト保守負担金 82千円

■取得・活用に関する補助金

空き家改修等に係る費用への補助を行い、空き家・空き地の利活用を促す。
○改修費等補助金 2,160千円 (補助率：1/2 補助額：上限40万円)
○片づけ事業補助金 1,080千円 (補助率：1/1 補助額：上限10万円)
○解体事業補助金(拡充) 1,000千円
(補助率：1/3・1/5⇒1/3 補助額：上限20・30万円⇒上限50万円)

4 特定空き家

■特定空き家への措置

◆認定済み 7件 各案件に応じて勧告等を行う
(R7略式代執行による除却実績1棟)

◆新規特定空き家の検討 (新)

1によって整備した空き家データを元に特定空き家に相当する物件をピックアップ。
所有者に対し状況の改善を依頼。
改善が見られない物件は、空き家対策協議会にて特定空き家認定の検討を行う。

- ・町民へ必要な町政情報を「素早く」「正確に」「誰もが受け取ることの出来る」をめざし、多様な広報媒体を活用した、住民の生活満足度を高める情報発信体制を構築します。
- ・町民のみならず町内外に「箕輪に行きたい」「箕輪町に住みたい」と感じてもらえる町の魅力を情報発信します。

① 広報事業(現状と今後の取組み)

○広報みのわのみ

- 発行部数10,200部 全戸配布
- R6からユニバーサルデザインに配慮したデザインへ
- ・広報誌からWEBへの誘導
- HPにより多くの情報を掲載



○回覧物の電子化

- ・HPへの掲載

○みのわメイト

- ・迅速な情報発信
- ・単位ごとの発信

○もみじチャンネル

- 月3回放送
- YouTubeチャンネルでの動画再生
- ・番組構成の見直し(新コーナーなど)
- ・収録動画をHP、行政チャンネル等で活用
- ★動画の強みを活かした効果を発揮



○行政チャンネル(ICT122ch)

- もみじチャンネル・各種動画・文字放送・議会中継
- 災害時の字幕放送
- ・文字情報システムリプレイス
- 文字放送機器を撤去し、平時は動画、災害時は字幕放送併用に変更し、経費を削減
- ・収録動画の活用
- ★動画を中心とした放送へ転換

○町ホームページ

- R6.12に新CMS導入
- 年間約100万アクセス
- ・HPを第2の窓口として位置づけ、より多くの必要な情報を掲載
- ・電子申請の導入促進
- ★いつでも誰でもアクセスできる媒体



○プレスリリース

- ・毎日発信
- ・みのわメイトや町HPとの連携

○記者懇談会(毎月下旬開催)

- ・生の声による情報発信
- ・報道機関との意見交換

○コミュニティFM放送(伊那谷FMラジオ86.7MHz)

- ・行政情報: 毎週月曜日～金曜日(5分×5回)
- みのわメイトやプレスリリース等から原稿化し放送
- ・伊那谷屋ワイド: 毎週月曜日～金曜日(12:00～14:00)

② 町の魅力発信

○みのわファンクラブ

- ・R8.3.31廃止(登録人数:1,300人)
- ・「ふるさと住民登録制度」、長野県「関係人口メンバーシップ制度(仮称)」へ参画予定(R9～)
- ・制度参画に向けたコンテンツの創出

○SNS等の活用

- ・Facebook: プレスリリースを中心に発信
- ・Instagram: 観光協会による観光情報
- ・LINE: 防災情報
- ・YouTube: 観光動画等の発信
- ・町HP: 外部ターゲットに向けた情報発信

○イベントでの情報発信

- ・姉妹都市でのイベントや移住イベントでの情報発信

○ふるさと納税

- ・返礼品発送時にチラシを同封
- ・ポータルサイトで町の魅力をPR

10 地域間交流推進事業

令和8年度予算額 5,000千円

東京都豊島区

(R4姉妹友好都市協定・H17災害時における相互応援協定)

【観光・物産交流】

- ・みのわ祭り参加
- ・ふくろ祭り、大塚商人祭り出店
- ・カフェふれあい企画販売
- ・としまMONOづくりメッセ出展
(箕輪町商工会)
- ・豊島区保育園、幼稚園卒園児へ花束贈呈



【環境交流】

- ・としまの森整備
- ・としまエコライフフェア出展

【スポーツ交流】

- ・目白ロードレース出場

【教育・文化交流】

- ・アンサンブルコンサート



東京箕輪会

- ・みのわ祭り参加
- ・東京箕輪会定期総会
- ・記念冊子
「みのわ*つなぐ」作成
- ・会員による町PR



横浜市箕輪町

- ・横浜市箕輪町商工会夏祭りとうもろこし提供
- ・箕輪商工フェア箕輪町商工会出店・協力

ふるさと大使 (11人)

- ・町の広報・宣伝
- ・各種イベント参加



愛知県幸田町

(R7姉妹都市協定・H24災害時における相互応援協定)

【観光・物産交流】

- ・こうた夏まつり、こうた産業まつり参加
- ・みのわ祭り参加
- ・みのわテラスイベント出店参加
- ・幸田町小中学校へりんご贈呈
- ・箕輪町保育園・小中学校へなす贈呈
- ・幸田町保育園卒園児へ花束贈呈

【スポーツ交流】

- ・幸田町新春駅伝参加
- ・ナイトウォーク、町内一周駅伝参加

【教育・文化交流】

- ・こうた凧揚げまつり参加
- ・幸田町からaibo派遣
- ・箕輪町小学生訪問交流、工場見学

【議会・区長会交流】

- ・両町議会、両町区長会視察交流

【災害応援】

- ・相互応援協定に基づく物資供給
(石川県内灘町：R6)



浜松市庄内地区 (H7友好交流協定)

【箕輪町→庄内地区】

- ・庄内地区幼稚園・こども園・小中学校にりんご贈呈
- ・庄内協働センターなつまつり出店
- ・庄内協働センター祭り参加
- ・小学校臨海学習

【庄内→箕輪町地区】

- ・町内小学校ポットマム鉢植え贈呈
- ・町内一周駅伝大会参加
- ・箕輪中学校卒業生花束贈呈

【相互交流】

- ・庄内地区箕輪町交流親睦会





1 1 多文化共生のまちづくりプロジェクト

多文化共生・男女共同参画推進室

R8予算額10,151千円(5,510千円)

多文化共生推進計画を策定し、中長期的目標を見据えた事業展開を行う

日本語教室 2,777千円(2,510千円)

県等の補助金を活用し、日本語教室の広域的運営を目指す
日本語教室は、生活者としてのルール習得、外国人住民の声を聞く、役場事業の周知、自国コミュニティに情報を広めるキーパーソンの育成など、地域住民と繋がる場として、単なる日本語能力向上以外にも果たす役割は大きい。

- 改**
 - 週1回 木曜 午前
 - 週1回 土曜 夜間(オンライン含)
- 企画, 運営, 実施等委託(NGO多文化LIFE)

- 新**
 - 広域運営体制に向けた近隣町村との連携体制の確立
 - 受入企業訪問による情報交換及び日本語教室の将来性の模索

災害時に備える 443千円

情報弱者となりうる外国人を支援する者の維持・拡大を目指す
3年目となる災害時外国人支援サポーター養成講座(辰野町・南箕輪村合同事業)の継続と、日本語教室を核とした外国人向け及び日本人向けの災害時対応を引き続き強化していく。

- 改**
 - 通訳翻訳ボランティア及び外国人支援サポーターブラッシュアップ研修
 - 外国人向け防災ガイダンス
 - 多文化防災ワークショップ
 - 災害時外国人支援サポーター養成講座(伊那谷北部3町村連携事業:辰野町主催)

- 新**
 - 新規転入者向け 困りごと相談LINE窓口等の案内及び災害時情報の提供

新 箕輪町多文化共生推進計画の策定 650千円

基本理念(ビジョン)

- 基本目標
- 基本方針
- 施策



住民意見を反映した
実態に沿った計画へ

広域化に向けた働きかけ

日本語教室の運営及び外国人支援の広域サポート化を目指すべく、関係機関との連携を強化し、広域支援体制への働きかけを行う。

- 継**
 - 日本語教室に他市町村の方も参加している状況を踏まえ、災害時外国人支援サポーター養成講座等で連携のある北部町村から、日本語教室の広域運営を目指す。
 - 県が行う多文化共生推進助成事業への参画検討

その他 6,281千円(3,000千円)

外国人住民支援のため、対外国人向け、対日本人向けの多文化共生社会に向けた情報発信を継続する。

- 継**
 - 外国人生活相談員2人の配置
 - 翻訳ツール導入による情報発信強化と業務効率化
 - 多言語化の拡大(転入者向け、各課発信文書)
 - 町内情報誌、SNS、Facebook発信、困りごと相談窓口運営
 - やさしい日本語講座

12 男女共同参画・若者女性活躍推進

歳出予算：14,660千円
歳入予算：4,405千円



箕輪町独自の女性活躍プロジェクト「箕ルプロジェクト」を始動し、連携を持った事業展開で多様な女性活躍のあり方を支援します。**3,302千円**

新 ① **ロールモデルの確立** (1,538千円)

「箕ル起業・働き方・生き方・暮らし方」

- ・箕輪町で既に自分らしく活躍されている女性たちを取材
 - ・地域で活躍中の若者の取材及び若者座談会のメンバー化
- 町HP、広報「みのわのみ」、インスタで発信

新 ② **コミュニティづくり「箕ル女性コミュニティ」**

- ①で取材した女性たちのコミュニティを作成
 - ・横の連携強化による事業拡大、新規起業家へのアドバイスの強化を図る。
- ③及び⑤新規相談者との連携も強化

継 ③ **伴走型起業支援「箕ル起業」**

- ・自分の強みを生かしたい女性の“想い”に沿ったゴールへの道筋支援を行い、起業しやすい環境を整える。
- 商工会や商工係等との横の連携を強化

新 ④ **パネルディスカッション「箕ル女性たち」**

- ・女性が活躍できる箕輪町をPRするため、①で取材した女性たちをパネラーとした講演イベントを開催
- ⑤新規起業家による販売会との合同開催

新 ⑥ **女性のための起業講座(全6回)**

- ・ゴールありきの第一歩を支援、事業拡大への道筋を作る
- 最終回を実際の販売会⑤とする、④と合同開催

新 ⑦ **その他 先進地視察等**

若者が活躍できる町＝若者が残る＝若者に選ばれる町
若者が働きたい企業がある町＝若者が働く＝若者に選ばれる町
調査結果を活用し、若者が自分らしく活躍できる町を、企業も巻き込んで目指します。**1,811千円(405千円)**

継 ① **若者意識調査**

- ◇17歳町民意識・生活実態調査
 - ◇23歳・28歳・33歳町民意識・生活実態調査
- ライフステージ毎の課題等の把握

新 ② **若者実態調査**

- 「箕ルプロジェクト」の一環として、若者への取材も行い、背景の異なる若者に、詳細な想いや望み等の聞き取り調査を実施
- 若者座談会の中心的メンバーを担う。

③ 若者座談会

- ライフステージの異なる若者間で、あるべき町の姿を話し合い、若者が参加したくなる参加型イベントを企画
- 町との距離感を縮め、自分たちの行動や声が町に届く経験の積み重ねを推進し、若者参画を促す。

④ 若者活躍応援補助金

- まちづくりに繋がるモデル事業を③と連携して実施

多様性社会
推進コーディネーター
4,621千円

女性と若者から選ばれ、誰もが自分らしく活躍できる地域へ

働きたい女性を支援、就労継続できる職場環境づくりを支援します。企業との連携体制を構築します。**3,446千円(1,722千円)**

継 ① **女性のための就業相談窓口**

- ・結婚・出産等を機に退職した女性を対象とした就業相談窓口によるフルサポート窓口
- 商工係と連携し、町内の窓口は「夢まちラボ」に一本化

新 ② **女性のためのセミナー開催**

- ・「育休中」「求職中」「働き続けられる環境づくりのための企業向け」の各セミナーを開催
- 対象者を分けたセミナー展開

改 ③ **女性のための合同企業説明会**

- ・職場環境づくりに励む会社を中心とした合同企業説明会を開催

④ 女性が働きやすい環境づくり改善に向けた企業向けセミナー

第三次男女共同参画計画の推進部隊「にじいろ共生会議」で町民に行動変容を促します。**1,480千円(740千円)**

新 ① **川柳コンテスト(若年層～中年層向け)**

- 共感と気付きによる行動変容を目的に、地元学校を巻き込んだ川柳コンテストを行い、家庭内に潜むジェンダー問題を提起し、優秀作品は今後の男女共同参画キャッチコピー等へ活用する。

新 ② **区議員への女性参画基盤作成(中年層～高齢層向け)**

- 区や議会への女性参画を目標に、区規約改定や先進区事例紹介を行い、具体的に確実に参画しやすい環境づくりを行う。

継 ③ **セミナー等の開催**

- 対町民向け、対企業向け

継 ④ **男女共同参画推進協議会**

13 重層的支援体制整備事業

令和8年度予算額：136,479千円（うち特定財源90,177千円）

事業の目的

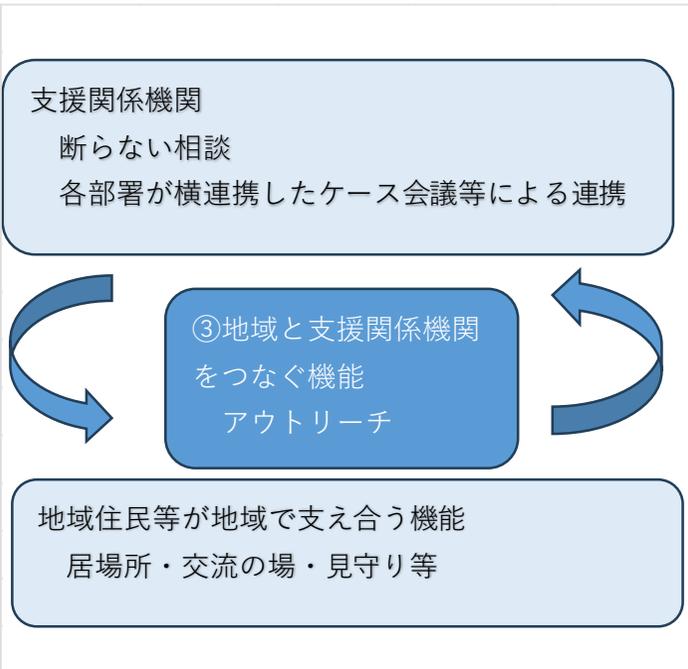
相談支援、参加支援、地域づくりを一体的に実施することにより包括的な支援体制（※）を整備する。

- ※①地域住民同士が支え合う機能
 ②支援関係機関が連携して支援を行う機能
 ③地域住民と支援関係機関をつなぐ機能

地域の課題

- ①複合化・複雑化した事例の増加
 ②地域力の低下
 ③把握が難しい潜在的なニーズ
 ④支援コストの上昇・支援者の負担増

重層的支援体制イメージ



重層的支援体制関係事業

多 機 関 協 働 事 業	介護分野	60,404千円
	包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）	38,483千円
	生活支援体制整備事業	21,921千円
	障がい分野	6,491千円
	相談支援事業（基幹相談支援センター機能強化事業）	6,491千円
	子ども分野	32,166千円
	利用者支援事業（基本型）	645千円
	利用者支援事業（こども家庭センター型）	23,131千円
	利用者支援事業（妊婦等包括相談支援事業型）	1,272千円
	地域子育て支援拠点事業	7,118千円
困窮分野	37,418千円	
福祉事務所未設置町村による相談事業	31,862千円	
生活困窮者支援等のための地域づくり事業	5,556千円	

14 こどもの貧困対策事業（貧困の連鎖予防）

生活保護率

	R4	R5	R6
長野県	5.4	5.4	5.4
上伊那郡	3.3	3.6	3.8
箕輪町	4.2	5.5	5.5

生活保護速報値から計上

生活保護世帯状況

	R4	R5	R6
長野県	9,100	9,053	8,939
上伊那郡	252	253	253
箕輪町	95	100	98

生活保護速報値から計上

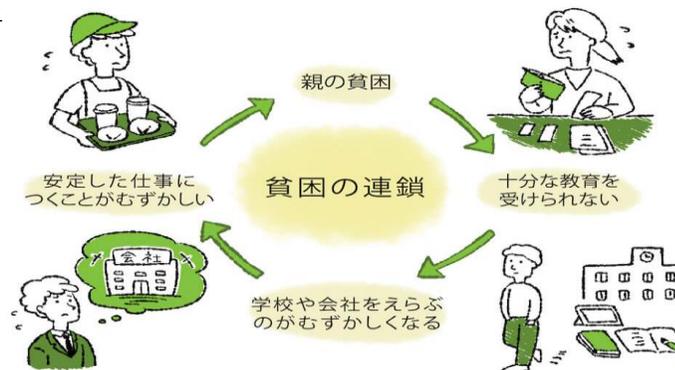
ひとり親世帯数（児童扶養手当受給者）

	R6	R7
箕輪町	140	138

箕輪町で生活保護を受給かつ、ひとり親世帯の数は、**5世帯**（R7/12現在）

【課題】

- ①親の障がいや子供の不登校等により就労が難しい
- ②生活相談では仕事が継続できず、多重債務
- ③支援の拒否



出典：日本財団ジャーナル「なぜ世界から貧困（ひんこん）はなくなる？」

教育支援	生活支援	地域支援
ひとり親等の大学受験料等補助 （こどもの生活・学習支援事業）（669千円） 民間団体による学習支援 こどもの学習・生活支援事業 （県事業）（社協実施）	障害年金、特別児童扶養手当等に繋げる まいさぽと連携し、就労へ繋げる 新 2か月に1回程度、生活困窮者が無料で弁護士に相談できる機会を設ける（132千円）	こども食堂への支援（600千円） 地域こども生活支援強化事業 こどもの居場所（こども未来課） こどもサポートコーディネーターの配置 こども居場所連絡会

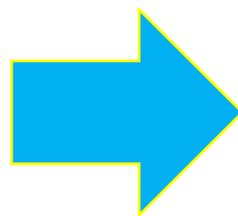
15 障がい者地域活動支援センターリニューアル事業

令和8年度予算額：10,000千円

町障がい者地域活動支援センターの経緯

設置年	施設名	場所	改善点
2016/7	みのわ〜れ	イオン箕輪店内	障害がある方もない方も、誰もが気軽に集える『憩いの場』を設けました。反面、商業店舗内のため、精神障がい者にとってはゆったりとした居場所となりにくい部分がありました。
2018/8	みのあ〜る(第1期)	旧：いこい基地内	よって、分室として“みのあ〜る”を町の中心地の民間賃貸テナント内へ設置
2020/4	〃 (第2期)	旧：町社会福祉総合センター内	テナントの契約終了に伴い、公共施設へ移転し継続
2024/10	〃 (第3期)	松島駅前 こども相談室だん暖内	公共施設解体に伴い、移転し継続

障がい者体験就労の役割、
一定の成果あり。
目玉、カフェレストラン
の終了



増える精神障がい者への
対応(居場所、相談先)



15 障がい者地域活動支援センターリニューアル事業

令和8年度予算額：10,000千円

障がい者にとってより身近な存在となるよう地域活動支援センターのリニューアルと移転を実施

現状と課題

「みのわ〜れ」（イオン箕輪店内） 障がい者の居場所と就労機会の場
「みのあ〜る」（松島「だんだん」内） 特に精神障がい者の傾聴・相談の場

- ・「みのわ〜れ」の障がい者就労としての利用者は減少傾向
- ・人混みの苦手な障がい者は「みのわ〜れ」に来にくいという現状

事業の概要

- ・「みのわ〜れ」「みのあ〜る」を統合し、伊那松島駅に近い場所へ移転
- ・カフェレストラン事業（障がい者体験就労）は廃止
- ・傾聴、相談事業を強化しながら、障がい者の居場所としてイベント等の実施
障がい者だけでなく、様々な人々が集える場所を目指す

期待される効果

- ・町の中心部の松島駅に近い場所のため、さらに立ち寄りやすい
- ・専用施設により、人混みの苦手な障がい者も来やすい
- ・テナントではないので、店内放送や他店舗の影響を受けず、落ち着いて活動ができる



地域活動支援センターが障がい者にとって、より身近な存在となる

16 松島保育園大規模改修事業

令和8年度予算額34,988千円

- 松島保育園は、平成11年（1999年）の開園から27年が経過するため、既存園庭の拡幅改修、園舎長寿命化工事を令和8年度から9年度にかけて実施
- 令和8年度上半期に実施設計、契約締結後、運動会（10月中旬）以降に、園庭改修工事着手予定
- 園舎は、長寿命化改修計画により令和8年度実施設計を行い、令和9年度に長寿命化改修工事を行っていく。
- 本事業実施により、広い園庭での保育活動の充実、施設の屋根等の改修により施設の長寿命化が図られる。

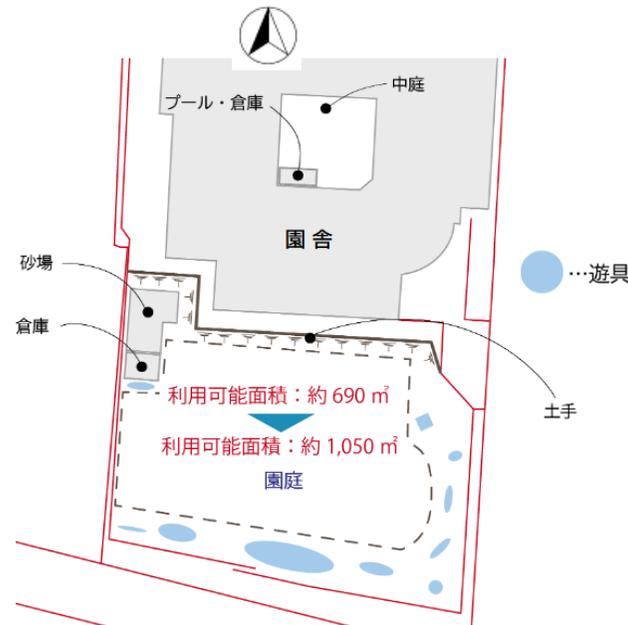
○園庭改修工事【令和8年度実施事業】

- ・既存プール・循環ポンプ機械室の解体
- ・砂場・遊具移転によるスペースの確保
- ・組み立て式プールの導入と中庭整備

○長寿命化改修工事

【令和9年度実施予定事業】

- ・屋根、外壁の塗装、床等内装改修
- ・外構改修



業務名
園庭改修工事
長寿命化改修工事



17 こどもまんなか社会推進事業

結婚・妊娠・出産・子育てに
夢や希望を感じられる社会の実現を目指して
令和8年度予算額3,300千円（国補助1/2県・町補助1/4）

産後ケア事業 市町村が、出産後1年以内の母子に対して心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を行う事業（病院や助産所にて助産師による支援を受けられる）➡（宿泊型・デイケア型・訪問型）

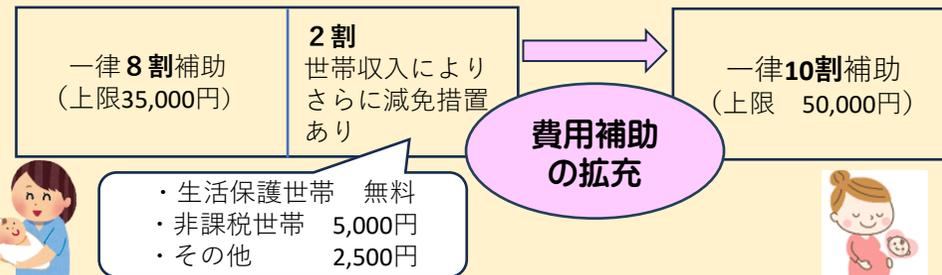
町の実績 (延べ件数)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (4~12月)	合計
宿泊型	9	3	12	11	10	9	9	63
デイケア	0	0	0	4	5	48	62	119
訪問	0	0	1	0	0	52	52	105
合計	9	3	13	15	15	109	123	287

※令和6年度から対象者の定義が拡大し、利用しやすくなった

- リピーター率が高く、延べ人数は増加傾向にある
「自己負担が高い」「自己負担不明で不安だった」との声あり。
- 要支援産婦の増加（産後うつ、精神疾患既往者、経済困難者）

補助割合 令和7年度 令和8年度



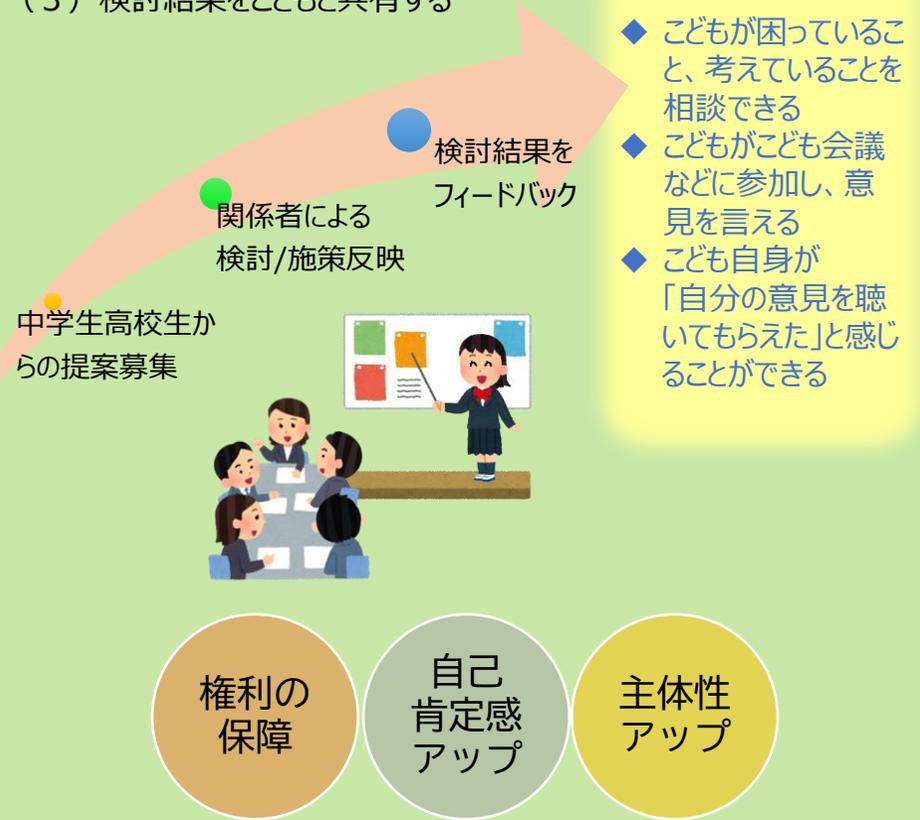
- 産後うつの予防
- 孤育て予防
- 虐待予防

こどもたちが自由に相談できる、意見が言える
『こどもまんなか社会』を実感できる地域づくり
令和8年度予算額1,499千円（国補助1/2）

こどもの思いに対するフィードバックの機会の創設

『中学生によるみのわ未来デザイン会議（仮称）』

- (1) こどもの思い・提案を受け止める
- (2) こどもの目線にたって検討する
- (3) 検討結果をこどもと共有する



18 健康増進事業

令和8年度予算額：15,546千円（うち特定財源 2,282千円）

運動や健診への参加を促し、楽しみながら健康づくりを続けられる環境を整えます。多様な事業を通じて、住民が主体的に健康づくりに取り組み、健康の維持増進を図ることを目的としています。

1

みのわ健康アカデミープラス事業
0401・0417 4,414千円

効果的・継続的な健康づくりと地域づくり

<ねらい>

選べる4つのコース。

1 アカデミーコース

定員20人。10か月。仲間と楽しく運動習慣の定着。

2 ウォーキングコース

定員30人。5か月。ウォーキングに特化した教室。アカデミーOBも参加OK。

3 夜トレーニングコース

定員10人。5か月。5か月。働き盛り世代でも参加しやすい時間帯。

4 体メンテナンスコース

定員10人。3か月。姿勢や体幹を整え、運動できる体作り。痛み改善。

2

ウォーキング推進事業
0417 1,909千円

アプリを活用した1か月間のウォーキングイベント。平均歩数でランキング。抽選で景品プレゼント。楽しみながら運動習慣の定着を！

<R7の参加状況>

参加 783人・75グループ
(R6より84人増)

<ねらい>

グループ対抗・個人対抗で競い合いながらウォーキングを楽しめる。住民、在勤者が参加できる。企業と連携して地域全体の健康増進へ。

3

健康ポイント事業
0417 1,124千円

健康づくりにインセンティブを！

<R6の参加状況>

参加者990人・達成者612人

<変更点とねらい>

1 対象事業を「健診受診」「節酒・禁煙」「運動」に集中。より効果の高い健康づくりへ

2 景品は「みのちゃんポイント」。地域活性化。

3 参加・景品交換の申込みはオンライン。利便性を高め、若い世代の参加者増へ。

4

げんきセンター等
運営事業
0321 8,099千円

自主トレーニング施設（げんきセンターとげんきセンター南部）の運営。多くの皆様の健康づくりのきっかけに！

<R6の利用状況>

げんきセンター：6,569人
げんきセンター南部：11,972人

<変更点とねらい>

「プロから学べるトレーニング」の実施を終了し、げんきセンターの土曜日一般開放。より広く個人の健康づくりの選択肢を提供。

19 アピアランスケア助成事業

令和8年度予算額：300千円（うち特定財源 100千円）

<事業の目的>

がん治療の影響で外見の変化（脱毛や皮膚の変化など）が生じた方が、安心して日常生活を送れるよう、ウィッグや補整具などの購入費用の一部を助成する制度です。治療による心身の負担を軽減し、自分らしく生活することを目的としています。

<R5～R7の助成の条件>

① 頭髪補整具（ウィッグ等）② 乳房補整具③人工乳房購入に対し、

**購入費用の額の1/2を助成
上限2万円**

助成2万円のうち1万円は県補助金で補填

例えば

①30,000円のウィッグを購入すると
30,000円÷2=15,000円の助成
→本人支出**15,000円**

R5～R7
の場合

②60,000円のウィッグを購入すると
60,000円÷2=30,000円（上限の20,000円を助成）
→本人支出**40,000円**

申請の状況

年度	件数	内容	件数	平均購入額
R 5 年度	5件	頭髪補整具	20件	60,776円
R 6 年度	10件	乳房補整具	3件	35,126円
R 7 年度	9件	人工乳房	1件	198,000円
		合計	24件	63,287円

- ・平均購入額約63,000円
- ・助成上限2万円（購入額4万円）以上の方は**75%**
- ・**頭髪補整具**の購入が**83%**を占める。
- ・頭髪補整具購入額は**幅がある**。17,656円～180,950円
- ・申請者の年代は20～70代、60代前後が多い。

平均購入額、高額購入者の存在を鑑み、
上限額を

2万円→5万円に引き上げ

<令和8年度からの**拡充**の内容>

**購入費用の額の1/2を助成
上限5万円**

助成5万円のうち1万円は県補助金で補填

実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標)	令和9年度 (目標)
客数※	124千人	146千人	151千人	166千人	201千人
総売上額	25,278万円	26,624万円	27,892万円	29,400万円	32,600万円

※各施設のレジ通過者数の合計



めざす姿

“PLAY! FARMING”
みのわテラスから農を遊び楽しむ暮らしへ

①農を「手がける」機会

農作物の消費だけでなく、自ら農を手がけ、農の豊かさやおいしさを自分ごと化するきっかけをつくる。

②農の魅力や楽しさを「広める」機会

地産地消を超え、域外にも農の魅力や楽しさを広め、農に触れるきっかけをつくる。

③農を「次世代へつなぐ」機会

農作物の消費だけでなく、自らの手で農を手がけ、農の豊かさやおいしさを自分ごと化するきっかけをつくる。

道の駅関連事業スケジュール

R7後期	加工所増築工事实施設計、道の駅化事業検討委員会開催、屋内遊戯施設に関する意見聴取、交付金申請
R8前期	加工所増築工事、関連整備事業実施、道の駅登録申請、屋内遊戯施設及び芝生広場拡張事業の実施設計
R8後期	南側駐車場拡張工事、道の駅認定、関連整備事業実施
R9.4 R9	道の駅オープン 屋内遊戯施設整備及び芝生広場拡張

令和8年度事業

【みのわテラスの活性化】

- ・みのわテラスマーケットの通年開催 2,276千円 (継続)
- ・みのわテラスのPR (SNS・HP等) 844千円 (継続)

【農ある暮らしの推進】

- ・給食食材供給補助 525千円 (継続)
- ・環境にやさしい農作物出荷手数料補助 500千円 (継続)
- ・町民菜園・交流菜園 596千円 (継続)

【道の駅化関連事業】

- ・各種整備工事 100,969千円
(農産物加工所増築、南側駐車場拡張、道路案内看板改修、デジタルサイネージ整備、防犯カメラ設置、音響設備設置、外灯増設 等)
- ・各種業務委託 21,780千円
(屋内遊戯施設整備工事实施設計業務、芝生広場拡張工事設計業務、デザイン支援等業務 等)
- ・その他 5,000千円
(道の駅関連備品 等)



ツキノワグマ目撃・（錯誤）捕獲件数

実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目撃	3件	3件	3件	19件	9件
捕獲	2頭	9頭	8頭	17頭	5頭

ツキノワグマゾーニング管理実施計画

○経緯

- ・ゾーニング策定のためのワークショップ開催(R7.1月)
- ・通学路等の地域合同パトロールの実施 (R7.5月)
- ・ゾーニング管理実施計画の県協議完了 (R7.6月)

○令和7年度の主な取組み

地元区中心の刈り払い



子どもたちの通学路周辺を中心に道路延長約3kmの刈り払いを実施

電気柵設置



果樹園などを囲むよう電気柵設置町では補助金を新設しました。

有害個体の捕獲



出没対策を講じてもなお被害を発生させる恐れがある個体は捕獲を実施

○令和7年のクマ目撃箇所（計9件）



計画に基づく取組み

【出没・被害防止対策】

- ・農作物被害対策事業補助金（電気柵設置） 1,000千円（継続）
- ・緩衝帯整備（地元実施） 1,701千円（拡大）
- ・森林整備事業（緩衝帯整備等） 3,000千円（継続）
- ・センサーカメラによる監視（R5導入） 48千円（継続）
- ・有害鳥獣駆除 3,959千円（継続）
- ・クマ放獣作業業務委託 792千円（継続）
- ・クマ対策に係る地域合同パトロール
- ・誘因物除去（地域、所有者）
- ・住民への広報・啓発
- ・広域連携体制構築への協力



緊急銃猟への対応

【緊急銃猟の実施に備えた準備】

- ・対応マニュアルの作成
- ・対応人員や関係者との体制確保
- ・机上及び実地訓練・研修の実施
- ・備品の確保（クマ撃退スプレー、盾など） 259千円（新規）
- ・保険の加入 40千円（新規）



22 森林環境整備事業

森林ビジョンの大目標：町内のすべての森が、何らかの方針のもとに管理されている。放置ゼロ！

＜森林ビジョンの3つの柱＞
 ・災害が少なく、安全・安心であること
 ・資源を育み、もたらすこと
 ・箕輪町の暮らしを彩り、支え、みんなが通いたくなる森であること

現在の取組み

- ・町森林ビジョンの策定 (R5)
- ・地区森林ビジョンの策定 (全15区) (R6～)
 - ①地区ごとの森林ゾーニング図作成、所有者確認
 - ②森林所有者意向調査
 - ③地区森林ビジョンの策定 (現地調査・地区の検討会議)
→ビジョンに基づく管理・施業の方向性を策定
【目標：5年間で15区のビジョンを策定】
 - ④経営計画等に基づく施業・森林整備
- ・森林経営計画等に沿った施業・管理への支援



- ・災害リスクが高い箇所へのリスク除去
- ・野生動物とのすみ分けのための環境づくり
- ・地域材利用促進
- ・森へ関わる仕組みや体制づくり
- ・森林整備に関わる人材の育成



令和8年度の取組み

【森林ビジョンの推進】

- ・地域林政アドバイザー 5,447千円 (継続)
地区森林ビジョンの策定 (3地区)
地区・個人への森林整備・管理支援
- ・森林整備事業補助金 (民間事業者への補助) 9,011千円 (継続)
- ・としまの森整備 (7年目) 5,484千円 (継続)
- ・松くい虫伐倒燻蒸 (枯損木の処理) 15,950千円 (継続)
守るべき松林と健全なうちから積極的に樹種転換する松林を区分し、被害拡大を抑制
- ・危険木等除去 (ライフライン・集落等) 2,000千円 (継続)
- ・森林整備事業 (委託) 3,000千円 (継続)
地区森林ビジョンに基づく森林整備、緩衝帯整備、災害危険木の除去等を実施
- ・鳥獣出没対策補助金 (クマ対策刈り払い) 1,005千円 (新規)

【地域材利用促進】

- ・木質バイオマス活用補助金 1,600千円 (継続)
ペレットストーブ、薪ストーブ導入補助

【森へ関わる仕組みや体制づくり・人材育成】

- ・森づくり・活用事業補助金 1,000千円 (継続)
- ・みんなで育てる箕輪の森づくり (植樹祭) 255千円 (継続)

23 地域農業を支える体制の整備

(R8 予算：40,932千円 一般財源19,932千円)

【目的】農業従事者の減少と高齢化が急加速する中、農地維持・農業経営発展を推進するため、各農業団体で組織する箕輪町営農支援センターを再編成して連携を強化。地域農業を支える中核組織としての体制を整備する。

■町農業の課題

- ・農業従事者の減少・高齢化が急加速
新規就農者に加えて兼業就農者など多様な担い手確保が急務
- ・法人・大規模農家に加えて小中規模農家の規模拡大を推進
- ・地域計画・目標地図策定したが、地権者や耕作者との交渉が難航
農地集約・集積が進まない
- ・農地が狭く、スマート農業の導入が困難

■課題解消の取組

課題解消に向けて 国や県、町の補助金等の支援に加えて各農業団体で組織する「箕輪町営農支援センター」を再編成4つの専門委員会を設置して、課題解決の協議を実施する。

■令和8年度 補助金・事業関係

(継続事業)	
・農業経営基盤パワーアップ事業	5,000千円
・農業次世代人材支援事業	6,400千円
・農作物被害対策事業	1,000千円
・有機資材利用促進事業	1,000千円
・荒廃農地等活用促進事業	1,000千円
・中間管理体制整備業務委託料	500千円
(新規事業)	
・地域計画・目標地図農地集約協力金	500千円
・田んぼオーナー	200千円
・学校給食「町内産米」供給	832千円
(国事業)	
新規就農者育成総合支援事業	21,000千円
内訳 経営開始資金(4名)	6,000千円
経営発展支援事業(3名)	15,000千円



箕輪町営農支援センター再編成 3,500千円



箕輪町営農支援センター (農業再生協議会)

営農支援センター構成員

町・町議会・農業委員会
JA上伊那・みのわ営農
認定農業者の会・区長会
地域営農組合・酪農振興協議会
農業者クラブ・有機農業研究会
学校栄養士代表・土地改良区
女性農業者団体(設立予定)
上伊那農業農村支援センター

専門委員会設置



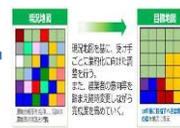
①米政策推進委員会

水稲生産調整(WCS用稲調整)
経営所得安定対策事業の推進
新たな転作作物の研究・検討



②担い手育成・新規就農者支援委員会

認定農業者・新規就農者認定意見聴取
兼業・定年帰農・雇用就農者意見聴取
新規就農者の伴奏支援
多様な担い手確保・育成



③農地有効利用調整委員会

地域計画・目標地図による農地集約
農地中間管理体制の整備(実行部隊)
スマート農業・ソーラーシェアリング
基盤整備・区画整理事業の検討



④環境にやさしい農業の推進委員会

町独自の認証制度の拡大
有機米の取組・学校給食への提供
有機栽培の町民菜園設置

24 産業支援センターみのわ

令和8年度予算額：2,435千円(うち特定財源882千円)

東みのわサテライトオフィスへの利用者移動や創業支援オフィスやレンタルオフィスに対する需要が拡大傾向にあることから産業支援センターみのわの coworkingスペースの仕様変更を行い、需要にあった施設の利活用を進めます。

◆ coworkingスペースの利用者減少

coworkingスペースとして半個室4区画を随時貸し出していますが東みのわサテライトオフィス(夢まちLabo)への利用者移動やcoworking利用者の創業による創業支援オフィスへの利用移行などにより年々利用者が減少傾向にあります。

【利用実績】

令和4年度 延べ631回 (IOTプログラミング、デザイン作成等)

令和5年度 延べ362回 (WEBコンテンツ作成、入力作業等)

令和6年度 延べ210回 (PC作業、就労支援事業準備等)

令和7年度 延べ74回 (PC作業) ※令和7年12月末時点

◆ 創業支援オフィス・レンタルオフィスの需要拡大

夢まちLabo半個室利用者の同施設内レンタルオフィスへの移行、入居者募集期間以外でのオフィスに対する問い合わせがあり、創業支援オフィスやレンタルオフィスの需要が拡大傾向にあります。

また、創業支援として貸し出しを行っている産業支援センター内の創業支援オフィスについては、4室すべてを現在貸し出しています。

【オフィス入居状況】

職業紹介・労働者派遣、外国人支援、生活関連サービス(美容)、生活関連サービス(娯楽)

coworkingスペースを廃止し、新たな貸オフィスとしての利用

■ レンタルオフィスの新設

これまでの coworkingスペースを廃止し、レンタルオフィスとして新たに運用を開始します。



25 関係人口創出拡大施設 東みのわサテライトオフィス

令和8年度予算額：14,047千円

多様化する働き方と働く場所を確保し、新たな人の流れを創出するとともに、「地域産業の活性化と就労支援」を核とする若者の地元での就業者数の増加及び後継者の育成や事業承継、創業支援を行う場として防災交流施設と異なる施設としてのブランディングを進め、人と企業、企業と企業を結ぶ拠点としての施設活用により地域課題の解決に取り組みます。

これまでの事業実施内容（R4～R6）

- ・企業マッチング、企業未来塾の実施
- ・ワーケーションプランの構築、実施
- ・利活用促進イベントの実施
- ・インターンセミナーの実施 など



仕事の拠点としての認知度向上となる事業を展開

地域課題に対するアプローチとして 東みのわサテライトオフィスを活用

人と企業、企業と企業を結ぶ拠点としての施設活用

■ 地域密着型無料職業相談窓口の開設

- ・職業相談受付【求職者向け】
- ・地元企業と求職者とのマッチング【求職者・企業向け】
- ・地域企業情報の収集と情報発信【求職者・企業向け】
- ・地元企業の採用活動のサポート【企業向け】 など



■ 企業支援相談員と連携した町内事業所の現状把握及び意向調査の実施

- ・採用計画及び事業承継等に関する状況把握（調査）
- ・地元企業採用担当者のリスト化（採用担当者との連携強化） など

■ 人材確保につながるイベントの継続

- ・学生及び企業向けセミナーの実施

■ 企業マッチングの継続

■ サテライトオフィスへの誘致の継続



R7の取り組み状況

- ・雇用実態調査 町内事業者(867事業者)に対し、雇用実態調査を実施し、227事業者からの回答を現在分析中
- ・無料職業紹介所設置 雇用実態調査に基づき町内企業情報の収集を行い、R8からの本格的な求職相談の受入や情報発信体制を構築中

【R8指定管理へ移行】

- ・サテライトオフィス利用者の受付、予約、利用許可、案内、使用料徴収等運営業務
- ・箕輪町地域密着型無料職業紹介所の運営
- ・喫茶スペースの運営
- ・シェアオフィスの入居募集及び契約
- ・自主事業、提案事業の企画・実施
- ・施設維持管理 など

無料職業紹介事業として委託する業務

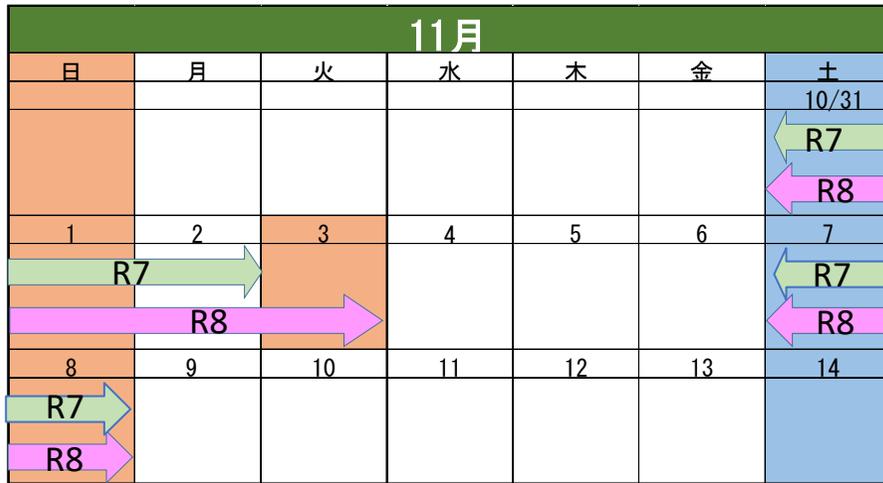
- ・サテライトオフィス内で行う求人・求職業務
- ・求人情報収集業務など町内企業訪問
- ・高校、短期大学、大学への訪問
- ・かみいなシゴトフェス等へ中小企業の代表として参加

26 もみじ湖観光受入事業

令和8年度予算額：31,233千円

もみじ湖の紅葉は、全国的な紅葉の状況等により、ピーク時の来場者は引き続き増加を続けており渋滞対策の継続が必要です。インバウンド観光客も明らかに増えており、最低限の対応・対策は必要になります。引き続き観光客の周遊・消費促進に努めます。

1 交通規制の実施期間



※令和7年度と令和8年度予定の交通規制実施期間を曜日で比較

【交通規制期間中の取り組み】

- マイカー規制
- 駐車場予約制
- シャトルバス
- 駅前往復バス

<令和7年度>

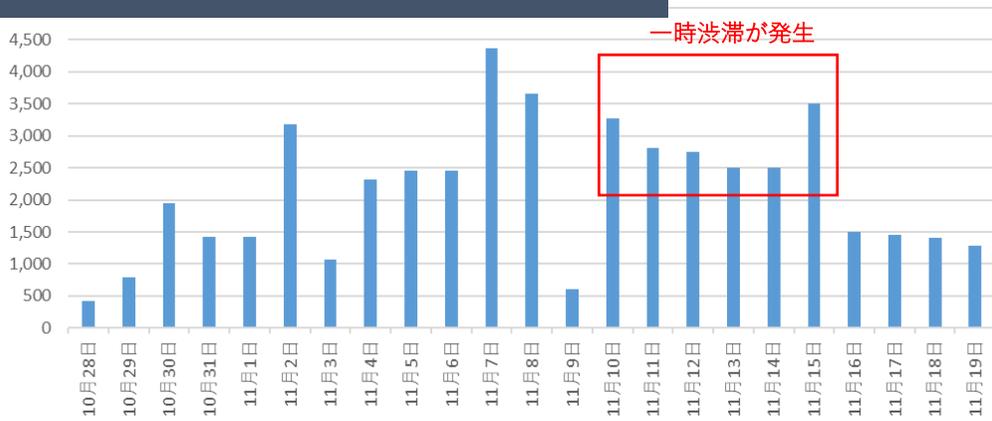
- ・令和7年11月1日(土)～令和7年11月3日(月祝)
- ・令和7年11月8日(土)～令和7年11月9日(日)：5日間

<令和8年度>

- ・令和8年10月31日(土)～令和8年11月3日(火祝)
- ・令和8年11月7日(土)～令和7年11月8日(日)：6日間

8月中旬に紅葉の傾向を予測して実施時期を決定

2 令和7年度の状況と今後の見通し



来場者数 64,000人 (前年比8,067人増)
⇒ 昨年に引き続き増加

紅葉期間が長かったため、比較的分散が進んだが、ピーク日付近の平日では小規模の渋滞が発生

実施規模の最適化をしつつ交通規制を実施

27 赤そばの里観光受入事業

令和8年度予算額：5,603千円

赤そばの里は、古田の里赤そば会により箕輪町の観光の代名詞として長年景観形成に取り組んでいる。毎年一定の集客があり、引き続き観光客の周遊・消費促進に努めます。温暖化等による気象条件の変化から、ここ数年赤そばの実の収量が下がってきている。赤そばの見頃の時期をとるか、収量を優先するか検討が必要。

1 赤そば里祭り期間

< 令和7年度 >

・ 令和7年9月20日(土)～令和7年10月12日(日)

< 令和8年度 >

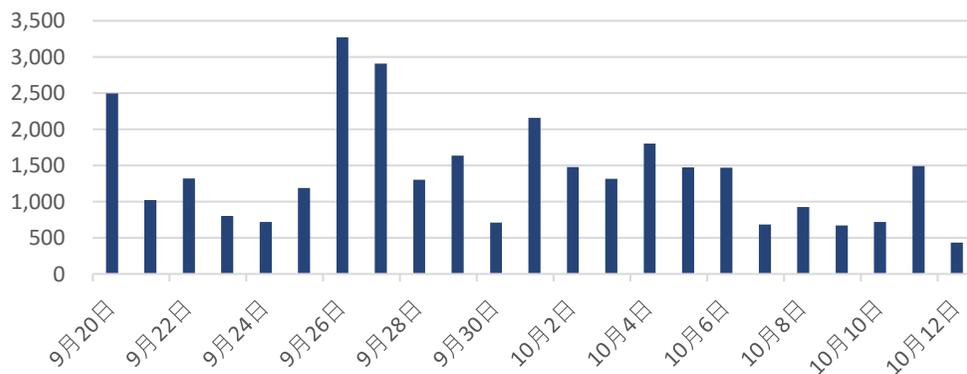
・ 令和8年9月19日(土)～令和8年10月11日(日)

例年9月の第3土曜日あたりから赤そばの里がオープンできるように播種を行う

【赤そばの里関連の取り組み】

- 古田の里赤そば会への景観形成補助
(直売所・そば処営業含む)
- 赤そば種子購入
- 仮設トイレ設置・撤去
- 電動車いすレンタル
- 赤そば乾麺製造

2 令和7年度の状況と今後の見通し



来場者数 21,000人 (前年比増減なし)

⇒最盛期より減少傾向

収穫量 120kg (前年比158kg減)

⇒年々収量減少

乾麺化最低ロットを下回るため、R8の乾麺に関しては古田の里赤そば会予算にて(株)タカノから加工用赤そばの実(R7収穫)を購入して乾麺製造予定

R8については一部収穫用に別筆での播種を検討中

28 天竜公園整備事業

令和8年度予算額 設計業務：4,554千円
整備工事：59,224千円

開園から30年以上経過し、老朽化が進む天竜公園の再整備（長寿命化工事）を令和8年度から行います。

【概要】

天竜公園は水に親しむ親水公園として、平成4（1992）年に開園しました。

これまでも遊具やトイレの整備などを行ってきましたが、開園から30年以上経過するなかで、噴水周りや水路、園路などに大きな痛みが散見される状況となっています。

このため令和8年度から既存施設の長寿命化工事を実施します。

【破損個所の例】



老朽化により鉄筋が露出した平板



コンクリート剥離が目立つ水路



クラックや陥没箇所がある園路

【整備方針とスケジュール感】

整備にあたっては、当初のコンセプトと形状を極力生かしつつ、より多くの方に安全に幅広く利用いただける公園を目指します。

令和8年度は噴水の改修及び入口周辺の平板ブロックを平坦性の高い舗装などへ置き換えます。

その後おおむね3年を目安に水路、園路の整備も随時行う予定です。

	R8	R9	R10
噴水周り・平板	設計・施工		
水路		設計・施工	
園路			設計・施工

28 天竜公園整備事業（改修イメージ）

歩道や駐車場からの
アプローチを改善！

噴水周りはより水と
親しめるゾーンへ！

平板ブロックを
平坦性の高い舗装に！

駐車スペースも拡大予定！

※注意

イメージでありこのとおりに
なるわけではありません

29 人や経済活動を支える道路インフラの整備

R8当初予算 3億512万円

主要項目

- (1) 主要幹線道路の整備 **1億3,472万円**
- (2) 雨水排水対策事業 **3,800万円**

- (3) 新興住宅地インフラ整備 **3,360万円**
- (4) 重要インフラ（橋梁）保全 **2,620万円**
- (5) 共同のまちづくり（区要望） **7,260万円**

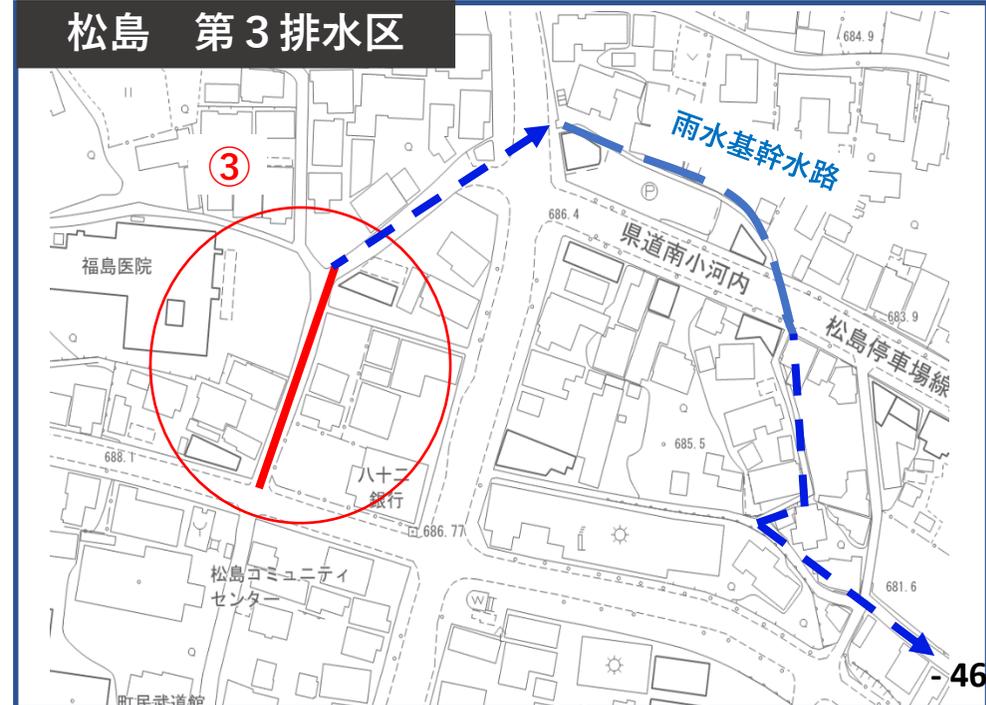
雨水排水対策事業

頻発する豪雨による浸水被害を防ぐため、老朽化・断面が不足した水路及び舗装面の改良により、道路に溢れた雨水等を雨水基幹水路へ排水

沢・大出 第2排水区



松島 第3排水区



30 公営住宅改修事業

令和8年度予算額：26,670千円（うち特定財源：26,000千円）

○概要

- ・長岡住宅団地は昭和57年度から平成13年度までの間に9棟建造されています。
- ・このうち昭和57年度から平成4年度までに建設された6棟が下水道未接続です。
- ・比較的築浅である平成2年度から平成4年度建造の3棟の水洗化に着手し、令和8年度はB・C棟を水洗化します。
- ・併せて老朽化したインターロッキング舗装をアスファルト舗装へ打ち換え、歩きやすい環境へ更新します。



拡大図

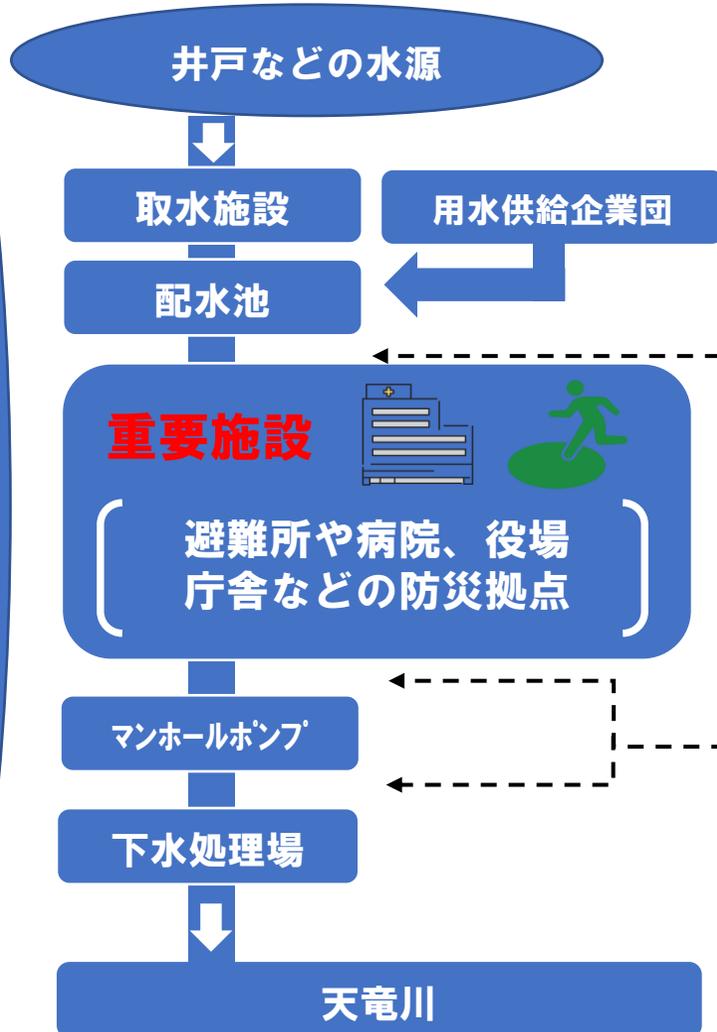


3 1 重要施設上下水道耐震化事業

経営の安定化・健全化
 R8当初予算(水道)：219,720千円
 (下水)：93,796千円

能登半島地震の被害を踏まえ、耐震化を上下水道一体で推進を図る避難所などを重要施設と定め、接続する上下水道管が対象

重要施設に接続する
 上下水道管の耐震化率



上水道 **69.8%** 現在の耐震化率

配水池から重要施設までの配水本管

対象全体延長 34,100m
 R7時点耐震適合管延長 **23,800m**

R11目標耐震適合管延長 31,100m
 R11目標耐震適合率 **91.2%**

下水道 **59.5%** 現在の耐震化率

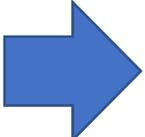
重要施設から下水処理場までの
 下水道管路

対象全体延長 31,700m
 R7時点耐震適合管延長 **18,850m**

R11目標耐震適合管延長 19,800m
 R11目標耐震適合率 **62.5%**

3 1 重要施設上下水道耐震化事業

経営の安定化・健全化
R8当初予算(水道)：219,720千円
(下水)：93,796千円

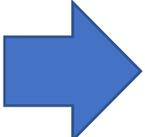
上水道 69.8%  **R8 74.5%** R8 施工後延長 25,400m

R8 工事予定：耐震管布設替工事 約1,600m

- 富田配水系 一の宮公民館上流 1 工区
- 旧富田配水系 旧富田配水池下流 2 工区
- 旧富田・富田配水系 富田公民館周辺 3 工区 4 工区
- 富田配水系 県道与地・辰野線下流（町道669号線） 5 工区
- 富田配水系 ふれあいの里上流 6 工区

R9 以降

- 富士山配水系 上古田～下古田
長田保育園・北西部多目的センター
- 福与・郷沢配水系 福与公民館・三日町公民館・ゆとり荘・木下公民館

下水道 59.5%  **R8 60.1%** R8 施工後延長 19,050m

R8 工事予定：管更生工事（既設管渠の内面に新管を構築） 約200m

- 国道153号線バイパス 木下南新町信号機付近

R9 以降

- 前年度到達点より順次国道153号バイパス沿い上流を施工

3 2 公共下水道不明水対策事業

経営の安定化・健全化
R8当初予算：12,319千円

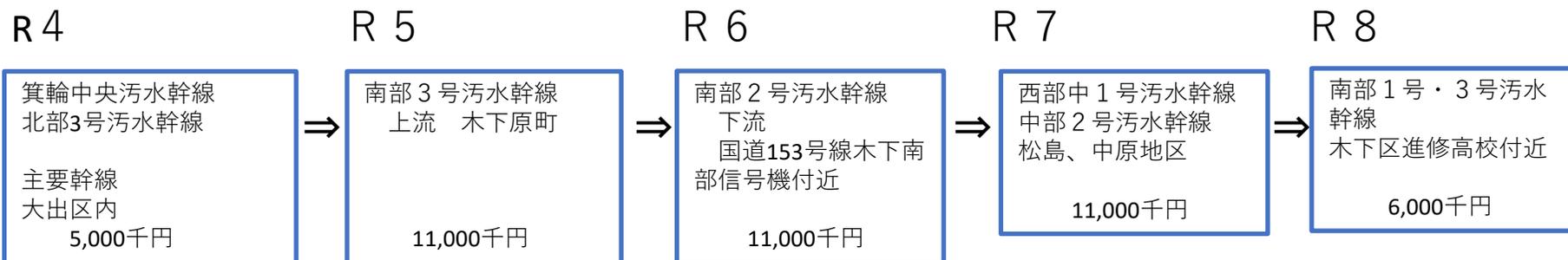
○下水道管路施設調査点検業務委託

ビデオカメラ判定・マンホール目視・システム入力

【R3～R7】

ストックマネジメント基本計画（R2策定）に基づき実施 補助率1/2

【R8】町単独事業にて実施 予算 6,000,000円



公共・特環処理区 不明水 管路施設調査点検で確認していく
R7点検調査結果 R8年2月下旬予定

○不明水調査委託

公共下水道 簡易水位計による監視調査 木下区内帯無川南予定 6,319千円

○【参考】令和6年度下水道有収水率（使用料として徴収できた水量の割合を示す指標）

年間処理水量：3,035,910^m³ 年間有収水量：2,090,635^m³ 年間有収水率68.9%

不明水：945,275^m³

Well being実践校 「子ども主体の授業づくり」を真ん中に置いて ふるさと箕輪から世界につながる そして 自分の未来を切り拓く

時代の変化に対応して学びを再構築する

子どもが主役の実現へ 6つの学びがつながる



子ども主体の授業

○子ども主体の授業づくりの実現にむけての教師の研修
★子ども主体の授業づくり研究会・セミナー [研修会講師謝礼 300千円※3回予定]

遊び=学び

○やまほいくを保小の懸け橋にして、遊びを学びへつなげていく
★リーフレット「もうすぐ1年生」[印刷製本費 33千円]

多様な学び方

○教育DXを有効活用した個別最適な授業づくり
★教育DX推進センターに、学びの改革サポートティーチャー、ICT教育支援員の配置し、「教育DX推進委員会」「授業改善WG」を定期的を開催するほか、町内各校の教育DX実践事例共有サイトを整備し、多様な学び方を推進
[学びの改革ST、ICT教育支援員報酬 9,799千円]

地域 保護者と共に創る

○「ふるさとルーム」の活用 子ども 保護者 地域の方が集い、交流し、楽しく学び合う
★地域の方々が集いやすくなるよう、現在各校に設けてある様々なサポート(安全見守り隊など)体制を土台に、人材バンク制(結さぼ(仮称))を各校に設け、ボランティア保険に加入
[ボランティア保険代1人当たり350円※小中学校振興交付金内で対応]

子どもが創る学校

○学校行事(運動会、音楽会など)の企画・運営に子どもが主体的に参加する。
★これまでに実践している学校を教育委員会事務局職員、学校教員で視察
[実践事例校視察研修費 231千円]

違いこそ力

○一人ひとりが輝く特別支援教育・インクルーシブ教育
★ [多様な学びコーディネーター・小学校養護教諭補助員報酬 5,026千円]

34 箕輪町文化センター開館30周年記念自主事業

令和8年度予算額：3,227千円（特定財源1,600千円）

箕輪町文化センターは、平成8年10月に開館して今年30周年を迎えます。式典等特別な記念行事は行いませんが、開館30周年を記念して、以下の恒例事業を記念事業として銘打って、例年よりも充実した内容として開催します。

事業名	実施予定日	事業費（委託料）
林家 正蔵 一門会（寄席） 林家 正蔵、林家 つる子他	7月18日（土） 有料（大人4000円×400人）	1,410,000円 (入場料収入1,600,000円)
日本の太鼓inみのわ	10月11日（日） 無料	800,000円
人権尊重のまちづくり講演会 講師：副島 淳さん	11月21日（土） 無料	431,000円
豊島区箕輪町交流 芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインドアンサンブルコンサート	11月28日（土） 無料（有料検討）	586,000円
古田人形芝居定期公演 箕輪西小学校古田人形クラブ、箕輪中学校古田人形部、古田人形芝居保存会	12月5日（土） 無料	0円

35 スポーツ振興計画

令和8年度予算額：13,768千円

地方におけるスポーツの推進に関する計画は、スポーツ基本法第10条において、地方の実情に即した計画を定めるよう努めるものとされており、国では令和4年3月に、「第3期スポーツ基本計画」を策定しました。県でも国の計画を踏まえ、令和5年3月に「第3次長野県スポーツ推進計画」を策定しています。箕輪町ではこれらを上位計画とした「箕輪町スポーツ振興計画（仮称）」を策定する。

スポーツ基本法（平成23年法律第78号）

地方スポーツ推進計画

第10条 都道府県及び市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十三条第一項の条例の定めるところによりその長がスポーツに関する事務（学校における体育に関する事務を除く。）を管理し、及び執行することとされた地方公共団体（以下「特定地方公共団体」という。）にあっては、その長）は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画（以下「地方スポーツ推進計画」という。）を定めるよう努めるものとする。

上位計画等

- ・第3期スポーツ基本計画（令和4年3月25日）【国】
- ・第3次長野県スポーツ推進計画【県】

いずれもスポーツ基本法に定める「地方スポーツ推進計画」に位置付けられている。

計画策定の目的

町民体育館のリニューアルオープンや部活動の地域クラブ化など、町内のスポーツを取り巻く環境が大きく変化する中、町民がスポーツに親しみながら生涯にわたる健康づくりに寄与するための計画を策定。

箕輪町の現状や課題等の把握

- ・スポーツ実施率
- ・スポーツ施設及び利用状況
- ・中学生の運動部活動（クラブ活動）に関する事項
- ・町教育委員会等主催のイベント
- ・信州やまなみ国スポ（フェンシング）
- ・箕輪町スポーツ推進委員
- ・児童生徒の体力に関する事項
- ・スポーツや運動に関するアンケート

【その他町内既存計画との関係性】

- ・振興計画
- ・健康増進計画 等

計画策定業務委託：979千円

部活動の地域クラブ化に向けた取り組み

令和8年度中に箕輪中学校の土日の部活動について地域クラブ化する。先行して3部活動程度がクラブ化予定（陸上・フェンシング・バレー）し、兼職兼業の教員や、町内クラブコーチが指導に当たる。今後地域クラブ化に向けて調整が必要な部活動については、協議会等での支援を実施予定

地域クラブ化支援業務委託：12,609千円



有識者等への意見照会

- ・スポーツ推進委員、町内スポーツクラブ等

パブリックコメントを経て計画完成へ

令和8年度リニューアルオープンを迎える町民体育館は、単に機能強化の改修工事を行うだけでなく、町のスポーツの総合的な窓口として、また地域の二次避難地として、より町民の皆さんに活用される施設となるよう、運営体制の見直しやスポーツ事業等の企画を行う。

町民体育館を拠点としたスポーツ施設運営

令和8年度予算額：17,948千円

町民体育館を町内スポーツ施設の総合窓口

- ・従来文化センターや、各小学校で行っていたスポーツ施設の予約受付・料金収受・鍵の受け渡しを町民体育館で行うことにより、各施設の開放日時や受付可能時間の拡大が可能となり、施設の利便性が向上

【現状】

各小学校：予約受付・鍵の受渡し可能時間 16時半まで
町管理体育館：月曜日休館・夜間新規予約受付不可

部活動地域クラブ化・スポーツ推進を見据えた運営

- ・部活動地域クラブ化後に、町民体育館を軸としたクラブ運営を行い、教員の負担軽減を図りつつ自走するクラブへの仕組みづくりを進める
- ・平日の施設利用閑散時間帯を活用し、高齢者等の健康づくりやスポーツの機会づくりを実施

町民体育館リニューアルオープン記念イベント

令和8年度予算額：3,760千円

町民の皆さんに広く関心を寄せてもらえる式典の企画

- ・令和8年5月下旬頃を想定
- ・ゲストを招いてのオープニングセレモニーの実施
箕輪町に縁のある選手や競技など、スポーツにまつわるセレモニーを企画
- ・アスリートの本物のスピード感やプレーの緊張感を目の前で披露
- ・参加した子どもが将来自分もこうなりたいと夢を持てるようなトークセッション
- ・アスリートとともにスポーツを親しむ体験 など



スポーツ振興計画と連携した施設の活用

より多くの町民の皆さんに活用される施設づくり・施設運営へ

3 7 文化・スポーツの町みのわ ～文化力向上プロジェクトで町の文化力と魅力をアップ～

令和8年度予算額：1,581千円（うち特定財源80千円）

R7年度事業

国内外の文化を
感じる事業



「松林図屏風」展示
来館者 1051人

▼感想（アンケート等より）

- ・こんな素晴らしい企画が町の博物館でできることに驚き。素晴らしい発想を持った行政だと思う。
- ・箕輪町に生まれてよかった。

国内外と郷土の
文化を繋ぐ事業



「トキワ荘」門展示
来館者 723人

▼感想（アンケートより）

- ・すごく楽しいので、このままつづいてほしいです。



特別展「アジア・太平洋戦争と箕輪」
来館者 802人

▼感想（アンケートより）

- ・戦争を知らない世代として勉強になります。また、子供を連れてきたいと思えます。

郷土の豊かな文化を
知る事業

パワーアップ

R8年度事業

多様な文化にふれて、
心を豊かに



国内外の文化を
感じる事業

東京国立博物館から
「平家物語図屏風」がやってきた！

大英博物館所蔵の「平家物語図屏風」の高精緻複製品を東京国立博物館から借用、展示

企画展

「物語を描く～親しまれてきた
ストーリー(仮)」

国内外と郷土の
文化を繋ぐ事業



郷土作家が描いた物語絵
を展示。あわせて「源氏物語絵巻」
（模写/徳川美術館所蔵）も展示



特別展
「身近で奥深い古絵図の世界(仮)」

箕輪に残る「古絵図」から、古の故郷
の景観を探る

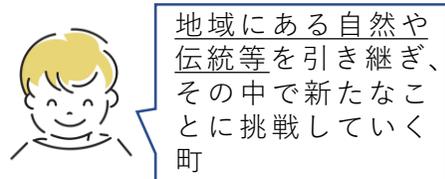
郷土の豊かな文化を
知る事業

38 箕輪町誌編さん事業 ～新しい『箕輪町誌』が目指す姿～

令和8年度予算額：1,553千円

名称	内容
①現代追加編	主に昭和50年代～平成～令和の箕輪に関する資料を収集・保管・調査し、現在までの箕輪町の歩みを記録・検証した『箕輪町誌』現代追加編を編さん・刊行する。
②自然・民俗補遺編	大きく変化していく現代社会の中で失われつつある身近な自然環境や習俗、伝統行事等について補足した『箕輪町誌』自然・民俗補遺編を編さん・刊行する。
③歴史補遺編	『箕輪町誌』歴史編（1986）の刊行以後に実施した調査・研究等の成果について記した『箕輪町誌』歴史補遺編を編さん・刊行し、現代との間に血を通わせる。

70周年記念式典で子供たちが語った「箕輪町」の未来



現在のように自然豊かな町であってほしい！



子供たちの思いも反映した『箕輪町誌』を目指します！

R8年度以降	これからの作業
①現代追加編	これまでの歩みを通史的に概観して記述項目を確定し、必要な資料の調査・収集を行ない、複写・保存等の作業をして、原稿執筆の準備を進める。
②自然・民俗補遺編	自然編は、現状では基礎データが皆無のため、向こう3年間信州大学に環境状況調査を委託して基礎データを作成する。民俗編は、引用資料の抽出と裏どり調査を進める。
③歴史補遺編	『箕輪町誌』歴史編の刊行以後に調査した事項の整理、データ作成、まとめを行ない、原稿執筆の準備を進める。